新眞婦人

SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

三月號

〔第三十五號〕

家庭と健康	西川文子
病める友に與ふる書	千駄木生
兒童に健康上善き習慣をつけるには	マクムリー
家族の健康と主婦の責任	醫學博士 石川貞吉
衣服に囚はれたる日本婦人	ドクトル 中島鎌太郎
日本婦人の缺點	ドクトル 志村誠麿
日本婦人に虚弱者多き所以	青山腦病院長 齋藤紀一
難病治療の靈能者	文學博士 福來友吉
自然療法講義	ドクトル 葛岡宗吉
人間と土地と食物との關係	西端半月
土の福音	西川光次郎

大正五年三月一日發行（毎月一回一日發行）大正二年[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、金、木午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地(市ヶ谷見附內)
東洋內科醫院
電話番町六二番
院長 醫學博士 高田畊安
南湖院
電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後入院診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料
御園白粉
御園白粉及御園化粧品は御料に召させ玉ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして專ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及体裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢献せん事を期せり。
御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば完全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乘りよく伸びよく斑点なく附き肌を透して自然の生彩を現はすこと化粧界の記録を破りたる模範品なり。
御園白粉
水白粉 御園の月
御園の花
御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
御園の蕾
洋風化粧下 御園クレーム
高等清香水 御園香精
化粧香水 御園の橘
御園香油
高等はみがき 御園歯磨
製造本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店

三月號目次

表紙　平和の家庭に咲く四季の花　菊地八峰
口繪　朝　藤森靜雄…(一)
家庭と健康　西川文子…(二)
病める友に與ふる書　千駄木生…(五)
雛祭る頃　唐澤純正…(八)
兒童に健康上善き習慣をつけるには　マクムリー…(九)
家族の健康と主婦の責任　醫學博士　石川貞吉…(一〇)
衣服に囚はれてる日本婦人　ドクトル　中島鎌太郎…(一一)
日本婦人の缺點　ドクトル　志村誠麿…(一三)
日本婦人に虚弱者多き所以　青山腦病院長　齋藤紀一…(一四)
難病治療の靈能者　文學博士　福來友吉…(一五)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然療法講義(三)　ドクトル 葛岡宗吉…(一七)
オキシヘーラーの効能　前島豊太郎……(一九)
百日咳の手當　吉岡彌生…(二〇)
人間と土地と食物との關係　西端學…(二三)
土の福音　西川光次郎…(二六)
處女の地　中尾フサ…(三一)
創作 お温習會　山本勇夫…(三三)
變つた型の葬式　托兒所
女子は家畜なりや　竹森一則…(三九)
三十女の日記　東大寺多代…(四一)
ちかひし言の葉　黒百合……(四六)
或る女の死　大月高陽…(四八)
活界の價値　記者……(五二)
フアウストを讀みて　ルツ女……(五三)

三月一日發行

三階 二階 階下

大陳列場

御婚禮道具一式調製

清

東京市京橋區金六町角

鷲塚高等簞笥店

電話京橋 五百七十一番
三千四百五十五番

振替東京 一九三七〇番

商品目錄送呈

第一向島工場

向島隅田村一三六九番

電話本所五百二十六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女といふ女の方の

肌身離さず御愛用遊ばす
自然の色艶を現す化粧料は

宮内省
御買上

ホーカー液

これは**ホーカー**液の品質が絶えず研究の結果改善されて居るからで厶います。常々お用ひ遊ばせば、色を白く、キメを細かに、アレを防ぎ、白粉のノリも思ひの儘に、上品なお化粧が出來ますから、東京では**ホーカー**液をお使ひ遊ばさねば、恥の樣になつて參りました。

新製品

思ひのまゝに而も自然らしい白さにつく

純白無鉛 **ホーカー白粉**

（定價一瓶二十五錢送料八錢）

東京和泉橋
堀越嘉太郎

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後
醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

本品は畏くも
皇后陛下を初め奉り
有栖川宮両妃殿下　梨本宮妃殿下
伏見宮妃殿下　朝香宮妃殿下
閑院宮妃殿下　東久邇宮妃殿下
東伏見宮妃殿下　北白川宮妃殿下
華頂宮妃殿下　山階宮妃殿下
久邇宮両妃殿下　賀陽宮妃殿下
竹田宮妃殿下
以上各宮妃殿下挙つて御嘉納の栄を賜はりたり謹んで茲に感謝の意を表し奉り併而本品愛用者各位に此光栄を頒つ

御後援
二條公爵閣下
土方伯爵閣下
大原伯爵閣下
鍋島侯爵令夫人御詠贈

外國(こつく)の人(ひと)もきそひてためすらむ
ならぶものなきこの化粧水(けはいみづ)
榮子

光榮
無上

ミルド化粧液

ミルドは

普通の品と違つて博士や學士が澤山集まつて研究創製した學理的の新化粧料ですから之を用ふれば顔の色を白くしキメを細くしてアレやH焦を防ぎ見違ふばかり美化する偉力を具へて居ます、されば今東京に於ては畏くも高貴の御方々を初め奉り各貴族の御家庭に於いて盛んに御賞用遊ばされつゝあります

全國到る所の化粧品賣藥小間物店に販賣せり若し品切れなれば直接注文あれ

東京　ミルド商會

責任證明
小久保醫學博士
臼杵醫學博士

合議創製
安齊醫學士
瀧原醫學士
吉田醫學士
神谷藥學士
望月藥學士

帝國大學講師
學習院教授　鈴木大拙先生新著

禪の研究

著者曩に『禪の第一義』を著はして參禪辨道の上に一路の新光明を與へたりしが今やその研究更に百尺竿頭に一歩を進め茲にこの新著を發表して從來の空疎なる談片禪語錄禪の外に別に充實せる系統禪科學禪の存することを明にして修禪の目的人生の歸趣始めてこゝに確立する所以を力說す洵にこれ禪界空前の新研究なり

▲鈴木大拙先生著　禪の第一義　定價一圓　郵稅八錢　（好評第十一版）

四六判美本　定價一圓　郵稅八錢

臨濟大學教授
文學士　木宮泰彦先生新著

榮西禪師

鎌倉足利時代の文化（文學、建築、繪畫、書道、香道、茶道）は一として當時傳來せる禪宗の影響を蒙らざるはなく殊に我國禪宗の始祖たる榮西禪師の偉業海嶽の如き者あり著者今多年の研究によりてその行狀事業著述及び法嗣の事蹟を詳述し以て鎌倉足利時代の文化を大正の今日に展開し來る單に一禪僧の傳記のみとしてこれを輕々に看過すること勿れ

▲荒井涙光先生著　道元禪師　定價一圓　郵稅八錢　（最新版）

四六判假名附　定價一圓　郵稅八錢

東京小石川區原町六　振替東京一五八六六　丙午出版社

東京小石川原町六　振替東京一三五三　鷄聲堂

マスター、オヴ、アーツ
早稻田大學女子大學教授　岸本能武太先生著

岡田式 靜坐三年

四六判五百餘頁
寫眞木版各十數個入
總クロス美裝全一册
定價金壹圓
郵稅金八錢

身體の强健法又精神の修養法として岡田式靜坐法ほど方法の簡單にして而も効驗の著しきものなきは世既に定評あり。而て靜坐法に關しては安心して信賴するに足るべき書物一もあることなし。
本書は著者が三年間實地練習の結果自から病弱體を變じて健康體とならしめたる實驗と感想とを記述したるものにして實行者の心得ふべき諸項は細大洩すことなく且つ木版や寫眞版にて正確に姿勢を示しあれば靜坐法の獨習的敎本として毫も遺憾なかるべし。又同時に本書は靜坐法の合理的說明とも見るべきものなれば靜坐法に關して種々の疑惑を抱く者は之によつて忽ち氷解と安心とを得べけん。苟も身體の强健と精神の修養とを望む人は何人も速に本書を一讀せざるべからず敢へて薦む。

大日本圖書株式會社
東京市銀座壹丁目　振替東京二一九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ドクトル 三田谷 啓編述

學齢兒童 智力検査函

●正價金四拾錢 郵税金四錢

ドクトル 三田谷 啓撰定

學齢兒童 智力検査法

●正價金六拾錢 郵税金八錢

此の方は三歳より十二歳まで試驗することを得べく精神異常兒は尚長じたるものにも應用し得る、兒童の智力が當該の年齢より幾年進めるか又後れるかを發見し能ふ便あり、使用容易なり

ドクトル 三田谷 啓編

●正價金八十錢 郵税金八錢

醫學博士 石川貞吉著

幼兒の精神査定及幼兒取扱法

◎正價金四拾錢郵税金四錢

生後一ケ年間ニ於ケル 兒童發育ノ觀察

ドクトル 三谷 啓著

智力検査成績簿

●正價十枚金貳拾錢郵稅五枚迄金貳錢

東京市本郷區湯島切通坂町

南江堂書店

電話下谷一三三〇番

振替東京一四九番

宮家御用

御婚禮御化粧御仕度
懇切に御高嘱に應じ候
遠藤波津子

特製ライラック水

先づ本品を用ひて肌を整へます、白粉下、湯上り、白粉溶水として此位便利な品は御座いません特製品を御求め下さい

ハイジエニッククリーム

其上へ本品の極少量を御顔へ御塗り遊す事、本品は白粉下、荒止、として經驗上無類です、クリームの附きたる手を拭き

理容白粉

最後に自慢の理容白粉を御用ひ下さい本品は永年の實驗より生れたる逸品でノリノビ自在美しき御化粧が出來升

特製ライラック水		.70 .50 .30
ハイジエニッククリーム	押出 瓶入	.40 .60 .45
理容白粉	顔用 襟用	.50 .35
固形ぬか	一打入 五打入	.15 .65
マッサージ用クリーム		1.50 .85 .50
ガーゼ手拭		.12
美顔術箱		4.50 3.30

三越　白木　松坂屋　松屋　白牡丹　關口　各店に有之

新橋竹川町十二
理容館
電新一五一九一振一四一〇〇

文學博士 三島中洲先生題字

陸軍教授 國學院大學講師 西村豐先生著

賜天覽

赤穗義士家庭

大石内藏助（第五版）

本書は忠勇芳烈二百年後の今日と雖ども、尚ほ且つ世人が謳歌稱賛嘖々として措かざる、赤穗義士の頭領大石氏の家庭を解剖詳叙して、我が國武士道の由來を明かにし、以て普ねく青年子女の讀み物に供し、精神修養の資料たらしめんとす

抑本書の著者西村先生は、豐富の學殖と特種の興味とを以て、夙に是等義士の事蹟に對して、研鑽探究に從事せらるゝこと、實に十有餘年の久しき殆んど一日の如く、其の間非常の苦心と勞力とを以て、蒐集せる材料の如きも今や積んで山の如し、既に斯る多大の材料を有せらるゝにも拘らず今回此書を編するに當り、上は内閣文庫の藏書、諸家記錄、古文書、及帝國大學史料編纂所の所藏に係る、義士關係史料等より、下は民間閭巷に散在せる稗史小說の類は固より苟くも義士に關するものは、斷簡零墨遺石といへども剩す所なく、皆悉く引據參照せらるゝに至りたれば、考證の正確なると前人未發の事實多きとは眞に驚くの外なし加之ならず行文亦平易流暢にして婉曲雅馴を極めたれば、義士の精神面目躍如として紙上に活動し、讀む者をして、或は怒り或は泣き或は笑ひ、吾を忘れて拍案快哉を叫ばしむるに至らん、試みに足下一たび之を繙かば、雞鳴曉を告ぐるも巻を蔽ふに忍びざるなり

菊判洋裝總クロース表題大石氏眞蹟花押美本正價金壹圓送料金八錢

見よ!!時代要求の珍書出たり高評嘖々

前判事法學士莊田要二郎先生序 醫學士佐々木金二郎先生序 新眞婦人主筆西川文子女史序 ドクトル鈴木薫先生跋 鴨田修治著

產兒制限論

一名避妊の研究

●少しく產で多く教育せよとは本書の主眼なり、今や避妊の研究は既に實行時代に入りて成績顯著なり、是れ世界を風靡せる生活難救濟、子孫繁榮の一大根本策請ふ一讀あれ

忽六版

全一冊 正價五拾錢 箱入頗美本 小包料八錢

新刊

整形 隆鼻法

ドクトル下田眞敬序日本藥學協會主幹鴨田修治著洋裝美本 價四十錢

「附鼻病療法」（送料免す）

鼻の低き人、形の惡き人は勿論醫者も見よ本書の指示せる療法又は矯正せば容易に高くなり裏天や獅々鼻、團子鼻、煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり

陸軍教授西村豐序鴨田修治著●洋裝金文字入美本 價金四十錢

第四版

どもり矯正法

●本書は墺國醫學博士コオン氏の『ドモリ』矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯正せば如何に『ヒドキ』ドモリの人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也

陸軍砲兵曹長興膝久登著●郵券廿五錢附送あれば直ちに送本す

第十三版

最新 長身肥滿法

せの低き人 やせたる人

本書によれば高くなる病後產後其他生れ付の人にても忽ち肉付強健となる不思議の療法なり世間短軀又は痩て悲嘆せる方は是非一讀あれ

東京市本郷區丸山福山町四 日本藥學協會出版部

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實益多き慰樂として江湖の家庭へ推奨す

● 養鶏十二ヶ月　松澤淳水君著 圖入美本總振假名 送料共卅四錢

● 最新實驗 蜜蜂の飼ひ方　北島正太郎君著 假名付精圖入 送料共六十一錢

● 家庭の山羊　原田嘉次郎君著 全一册寫眞版入 送料共卅二錢

● 家禽人工肥滿法　井關十二郎君著 精圖入總振假名 料共五十六錢

● 和洋四季 草花培養法　原田東一郎君著 振假名挿圖澤山 料共九十八錢

● 盆栽の培養　小川安村君著 振假名付中判假綴 料共三十五錢

● 水の女神 睡蓮花　井開十二郎君著 密圖入中判美本 送料共十二錢

● 霧島 躑躅栽培全書　大石進君著 中判全一册寫眞版入 送料共二十一錢

● 薔薇栽培法　野村買笑君著 中判美本全一册 送料共二十七錢

● 朝顔及夜會草の栽培　千葉晩香君著 大判美本總振假名 料共四十四錢

● 最近 花壇草の研究　石垣精一郎君著 全一册中判美本 料共五十六錢

振替東京六九六番
電話京橋一〇五五番
東京京橋 有隣堂

新形舶來 ルーデサック

品質うすく軟く且強ければ使用上毫も遺憾なし（一ヶ年以上保存確實なり）

拾個六拾錢●廿個壹圓拾錢●五拾個貳圓四拾錢●百個四圓四拾錢●貳百個八圓（卸賣相談）

流經靈藥 月やく下し通經劑

●價一劑九拾錢●二劑壹圓六拾錢●三劑貳圓貳拾錢●特別製分貳圓九拾錢●頑固症用特別製分五圓參拾錢也

は月やく閉止●不通●不順●困難等に用ひ速に其目的を達し流經作用の偉効確實なるを遙に他の類似藥に優越す

わきが必治劑

●小劑壹圓八拾錢●輕症用貳圓八拾錢●重症用五圓八拾錢●慢性症用特別製分拾圓八拾錢

は腋臭病の病原汗腺たる其根本より變質せしむべき目的にて幾多研究の結果漸く完成せる特効藥也●難症腋臭にも奏効有●ワキガにて悲觀しつゝある患者は速に試み苦惱を脱せよ

毛生新藥（けはへしんやく）

價●小瓶壹圓貳拾錢●中瓶貳圓貳拾錢●大瓶五圓參拾錢●特別製分拾圓參拾錢●毛生藥は多しと雖幸に玉石混同視する勿れ

本劑（ヘアーグロース）は多年學理實驗の結果遂に發見するを得たる靈藥なり●禿頭病●やけど●はれものゝあと●はへぎわうすき●陰部毛なき●總べて毛のあるべき處に毛なき人は速に試み其著効を知られよ

東京神田區五軒町 日新館藥房 電話下谷四五四六番 振替東京九貳四六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病專門

南葛飾郡龜戶、龜戶一一二〇

加命堂腦病院

電話本所二五五二番

院長　奈良林淺次郎

腦神經精神病專門東京青山腦病院長
ドクトル、メヂチーネ　齋藤紀一先生著

神經衰弱の治療及 健腦法

最新療法

腦神經病患者必讀最良書　正價七拾五錢郵稅八錢

發賣元　東京本郷湯島切通　南江堂

醫學士　酒井谷平先生口述

胃腸講話

無代進呈

胃腸は人體中の貴重なる機關にして而も胃腸病は吾人が平常最も罹り易き疾病で且つ諸病の源をなす、本書は胃腸の解剖、生理及胃腸病の原因並に其症狀を簡單平易に記述し、理解し易く繪圖を添へ簡易なる治療法を附加す。身體の壯健胃腸の健全を望む人又教育者、看護の職にある者には親切な相談役となる著書である。

◎郵便切手二錢封入御申込の方へ送呈す

◎東京市日本橋區本町三丁目　圓城商店

東京衛生試驗所長藥學博士　田原良純先生分析
陸軍三等軍醫正正六位勳六等信太虎雄先生圖案

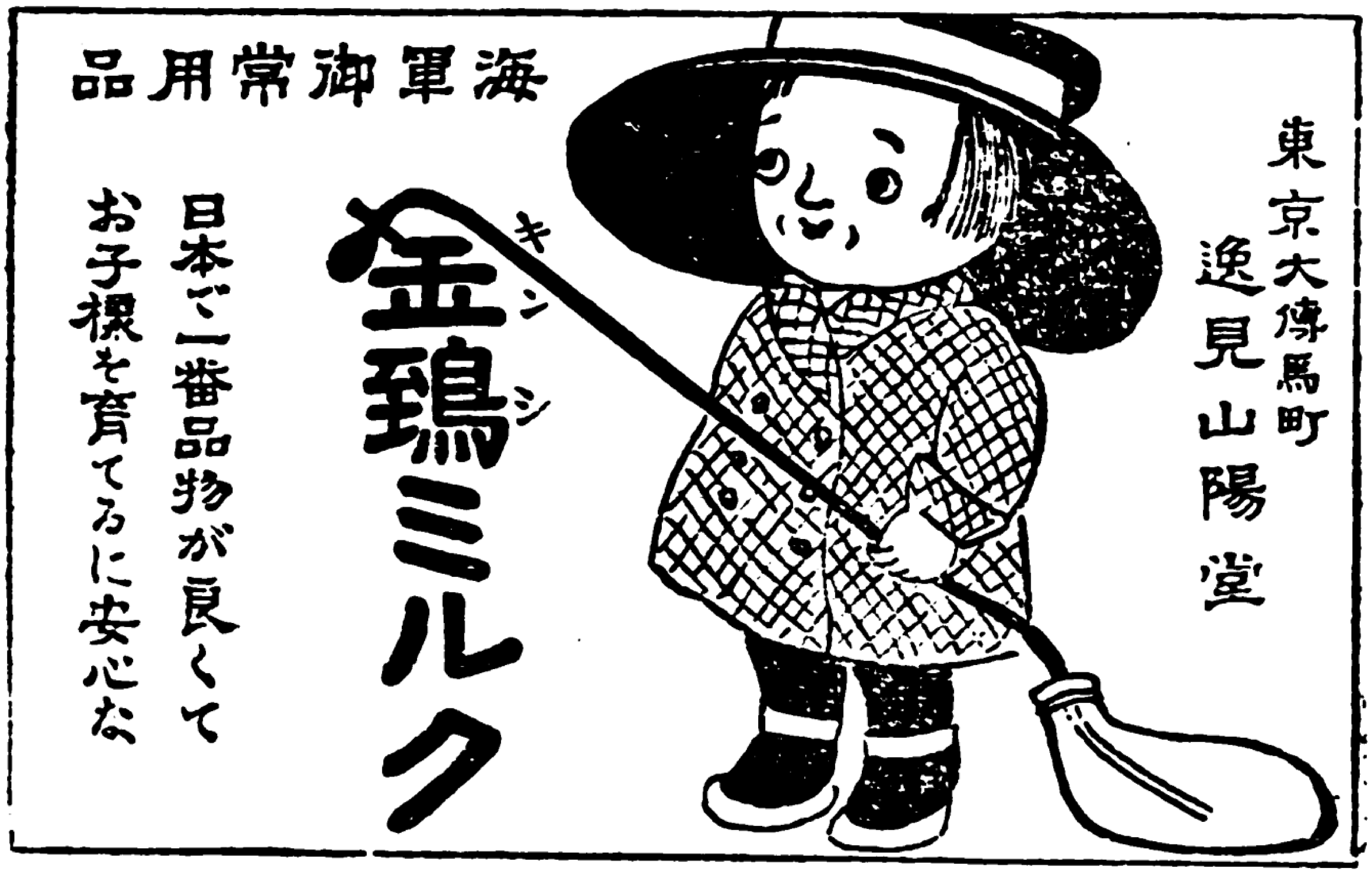
十六版

家庭衞生臺所便覽

◎定價金拾錢　送料貳錢

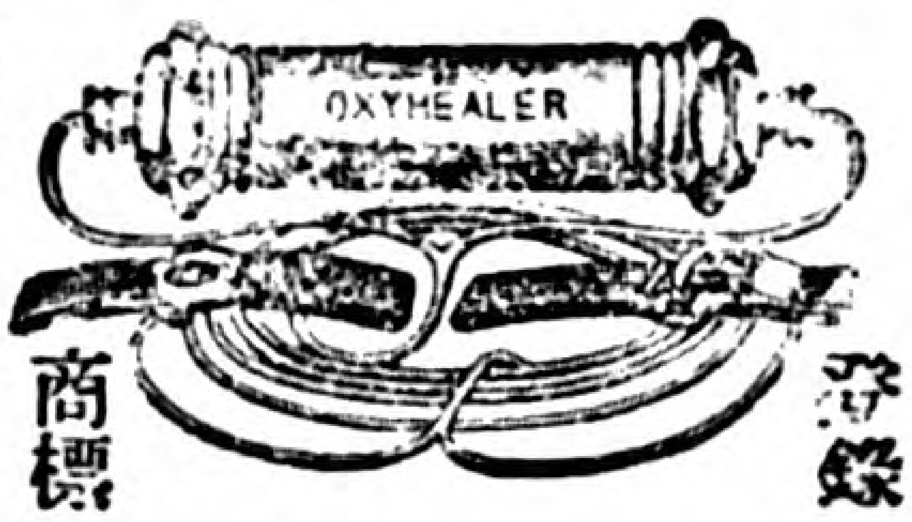
◎日用の食品百四十餘種に就て一々滋養分の含量を示しなほ消化時間を明にし之を着色圖により婦女子にも解し易くせり身體の强壯を望む人は本書によりて日常食品を撰擇するを最も必要とす

◎東京日本橋區本銀町二丁目　小笠原大洋堂
振替東京一二三四八〇　電話、局四七四三



海軍御常用品
東京大傳馬町
逸見山陽堂
金鵄(キンシ)ミルク
日本で一番品物が良くて
お子様を育てるに安心な

酸素療器



登錄商標

□良妻と云ひ賢
□健康これ
□そは美し

オキシヘ

本器は磁氣の力を應用して人體固有の磁
能の働きを活潑ならしめ清新なる健康の
す論より證據使用者は忽ち脈搏强實とな
慾の亢進、老癈瓦斯の驅逐、兩便の快通
て婦人特有の諸疾病に對しても幾多治病の

■使用法 簡易にして時と處とを問はず些の熟
■耐久力 構造堅牢効力永久不滅にして電池の
■感覺 頗る自然的にして使用上毫も刺戟又
■費用 治療上別に藥物等を要せざるが故に

▼正價金參拾五圓▲

オキシヘーラー奬勵會

新眞婦人

三月號・(第三十五號)

「朝」

藤森靜雄

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭と健康

西川文子

（一）

私は五六年前、丁度二女の姙娠した時でした。私の例として惡阻が激烈で氣分が頗る惡く食事もすゝまず さて爲なければならぬほどの氣分を引立てる仕事もないので、ブラ〱〱してゐるとます〱惡く、肺病ではないかと思つて高田畊安先生を煩はして診察して頂いたり、厭世悲観交々至つて眞靑な顔をして、其の頃住んでゐた家の附近である谷中の墓地を毎日ブラ〱して日向のあたゝかい處に陣取つて憩つてゐるのが一番いゝ心持ちでした。かくて辛い〱生を辛うじて生きてゐる時でした、其の頃上野の榊原蕉園女史のお宅で毎朝開かれる岡田式靜座に良人や友人が行つてゐましたので、私にも行くやうにとすゝめられました、私は冬の朝の寒空に早く起きて行くのは大變だと思ひましたが、それでも朝餉の用意をするよりははるかに樂なので行つて見ました、所が先生から『何それ位の事わけもなく治ります』と云はれて指導を受けると不思議に心機一轉して食事もすゝむ樣になり、病魔などは一掃されて了ひました、出産するまで引つゞき通ひましたが、其の時の赤ん坊は非常に大人しく落ついてゐまして、今でも變つてゐます。それ以來私は岡田先生は私にとつて大恩人だと感謝して居ります。私は今でも時折其ブラ〱時代を囘顧するとゾッとします。どんな見苦しい顔をしてゐたゞらう。私の夫ならばこそ親切にして呉れたので、大抵の人ならばあんな時に逃げ出すのであらう。我まゝ一方であつた私は遠慮會釋なく靑い不景氣な顔をしてゐましたが、私自身でも今ならばあんな顔をしても平氣でゐられる自信がない位

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

です。私の夫が堪忍強くて逃げ出して呉れなかつたのは幸ひでしたが、逃げ出してから今の私の樣に氣づいてもそれは後の祭りで何とも取り返しのつかぬことです。それ以來私は病氣に對する觀念がすつかり代りまして小供の病氣でも落ついて治す事が出來る樣になりました。

○

私は茲二三年婦人問題を研究し家庭問題を調べたり相談を受けたりしてゐる中に、家庭の不和の多くが、不健康から來てゐる事を益々發見しました。私は或夫人から次の樣な手紙を受取つた事もあります。

『私達夫婦は根本的に健康狀態が一致しないのです、若し强ひて平和にして行かうと云ふならば、私はとうに死んで了はねばなりません、自分が夭折すると云ふ事は、一家の爲めにも小供の爲めにも容易ならぬ大事です、それを思へば彼女(夫の妾)は自分に成り代つて助けて呉れるものだとも思ひます、寧ろ憐んで同情し感謝してゐる次第です』と、何と云ふ慘たる事實でしよう。私はこれに類した事をどれ丈け聞かされるか知れません。して見ると人間の動物性と云ふものも大したものではありませんか。全く人を愛するのではなくて自己を愛せんが爲めに人を愛するのです。人間の利己主義にもほと〳〵愛想が盡きます。

右の手紙の樣な事は表面何でもない樣ですがなかなか重大問題だと思ひます。

生理的問題がたゞ生理的で、肉體問題がたゞ肉體問題で終りましやうか。決してさうは思はれません、私共は肉體と精神とを併せ持つてゐる人間ですから、肉體の缺陷から逃げだしたものが、精神丈けはもとの宮に殘しておいて、拔け殼だけ他道へそれると云ふ事がありませうか。それは到底むづかしい事です。庇貸して母屋取られる樣に、初めは助勢して貰つてゐるつもりでも遂には自己を破滅させる譯となるのです。

嘗てファウスト?を讀みました時『女性の眞の幸福は强健なる男性の與ふるそれが尤だ』と云ふ句のあつたのを記憶して居ります。之は女性にとつてのみでは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありません、男性とて同じ事でしやう、併し今の社會では男性は云ひ知れぬ不滿を抱く時、他にそれを求むる方法があります。處がそうした他にそれた不純な愛によつてはもう女性は幸福を得られる筈がありませんもと〳〵は女性自身の不健康から招いた事とは云ひながら、それによつて女性の幸福は永刧萬刧蹂躙されて了ふのです。

又家の中に病人のあることが一家中を不幸に陷らしめますのは、そんな恐ろしい動物性の發展たる利己主義からのみでなく、淸い美しい精神的方面からも陰氣ならしめ殺して了ひます。それは氣の毒と同情し、どうかして癒したいと希ふ心配や、苦痛を輕くしたいと思ふ念慮が家庭の空氣を陰氣ならしめ、不愉快不活潑にします。だから家庭の健康問題は單に肉體問題ではなくて精神問題です、病氣になつてからはもう手後れですから、平常から一家の主婦が健康に注意し、それ等に就ての知識を得ておく事が最も肝要な事だと思ひます。

（二）

之れ今回我社が『家庭健康號』を發行する所以、本誌が引續き健康に關する記事に重きを置かんとする所以であります。

のみならず、私はかねて、日本婦人の早く老衰するのは、全く運動したらぬ爲めとの考へから、かねて大きな婦人運動場を建設したいと願つて居るので、一には其の手始めとして、二には普ねく家庭に健康に注意する氣風を注入したいと思つて、今回家庭健康顧問會を發起するに至り、既に別項記載の如く諸先輩の贊助を得る事になりました。尙ほ多くの諸先生に贊助して頂きたいものと、奔走して居ます。

而して本誌が、本號に於ては勿論、今後も色々な健康法を紹介する所以のものは、全く甲に適する健康法と、乙に適する健康法とが違ふからであります。例へば宗教を信ずるにしても、佛教がピッタリ合ふ人と、基督敎がピッタリ合ふ人と、乃至は神道がピッタリ合ふ人とのある樣に！

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀者諸氏は、どうか色々の方法中、其の最も自分に適しさうなものから實行して、健康に關する知識を生かして使ひ、尚ほ進んで健康に關する知識を多量に求むる様になつて欲しいと思ひます。

病める友に與ふる書

千駄木生

御手紙拜讀、御書面によると、種々の療法を試みても一向効驗がないので、疳癪が起るとの趣、なるほど貴方の身になつて見ると、疳癪の起るのは無理はないが併しソレでは困る、どうか私に少しく説敎させて下さい。

貴方も御承知の通り、病人にとりて何によりも大切な事は、全快を急がぬことである。かくとは知りつゝも誰れしも身に病氣があれば、何せ早く癒へぬのかとヂレてならぬものである、ソコで急いではならぬとの言が、凡ての病人に愈々大切となつて來るのである。知らず識らずにであるとは云ひながら、永い間不自然な、無理な生活をしたことが原因になつて、病氣になつたのであるから、自然な、無理のない生活をして、靜かに恢復をまつより外に途がない。

ソレは深呼吸も大切です、岡田式靜座法によるにしても、藤田式息心調和法によるにしても、深呼吸と同時に精神をも作用せしむるのであるから、たゞの深呼吸より結構なるは云ふまでもない。其外、日光浴、空氣浴、冷水擦摩、砂浴、オキシヘーラー、溫灸等もよろしく、食養に注意し、成る丈け多く果實を食して、それを主食物たらしむることなども、病を癒へしむる上に効力あることとです。併しドンナ方法によるにしても亦、澤山の方法を併用するにしても、ソウ凡ての病氣が日を限りて癒ると定まつたものではない。之れが分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らぬのみならず、急ぐと反つて病の癒へることを後れしむる傾きがあるから、少しでも急ぐ氣が起れば、之れではならぬと注意すべきである。

成る丈け、心身共に健全で快活な人を友として交はり、健全な思想の書を讀みて精神力を旺盛にし、病の身にあるを忘るゝ樣にし玉へ、病を忘れ得ば、既に病を征服し得たのである。病が氣になる中は、其の氣になることが、病の癒へることを妨害する。

古人も『病によりて間を得たり』と云つてあるが、此の間を得たことが、大變な賜物です、貴方よ、此賜物を利用し、壯健者の考ふることの出來ないことを考へ玉へ。病中間を得たのを幸ひ、人生問題を考へたり修養的に云へば我が身のことを巨細に考察して見ると云ふことは、何によりも大切で、之れが出來ると云ふことは有難いことです。

金持の時に貧乏の味を知ることと出來ず、壯健の時に病の味を知ることが出來ない。人は同時に二つのことを考へられないのであるから、私は貧乏の時には貧乏を研究し、貧乏を樂しみ、病の時には病を研究し、病を樂しむ樣にしたいと考へる。

如何なる運命が私を見舞うても、私はソレを感謝して受けたいと思うて居る、ソレによりて新しいことを知り得、味ひ得るワケであるから。時々雨が降るので天氣の有難さが分るのです、若し一切雨の降らぬものであつたら誰れが天氣の有難さを知りましよう。若し人間が一生病まぬものであつたら、誰れが健康の有難さを知りましよう。

過つて仁を知る、病んで壯健の有難さを知る、病も亦た有難いものである。

ソレに又、私共が間違つた生活を續けて居る場合に天然自然がソレを知らしめようとして病氣とならしむるのであつて、病氣は惡魔の使ひではない、云はゞ天の神樣のお使ひなのである。されば自分の惡い事を知らずして、病氣其者を憎むと云ふことは、愚の極である。

私は貴方に對してのみならず、凡ての病人に對して、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の根本論をして見たいと思うて居る。病氣に對して此の考へを持しつゝ、静かに色々の療法を試み、時としては醫師に相談し、藥を飲むことをも、私は必ずしも無用としない。併したゞソレ等は健康恢復の補助をするに過ぎない、ソレ等の力のみによりて癒へると思ひ、ソレで癒へぬからとて腹を立てゝはならぬと思ふ自分の生活を反省して過つた點を直しつゝ、道理に叶つた療法を試みつゝ、静かに平癒を俟ち、何時癒るかは天然自然に委任して置き玉へ。雨は私の願ひによりて降らぬ如く、病氣も私の願ひ通りには癒らぬ。(下略)

懸賞募集

一、論題

△罪なくして夫に離縁されんとする場合婦人の執るべき態度に就て(但し既に數人の小供ある場合)

△夫に死別せし時、婦人の執るべき態度に就て(但し既に數人の小供ありて、財産なく、職業なき場合)

一、紙數　一枚四百字の原稿用紙十枚以内

一、〆切　三月十日

一、賞金

△一等　十圓　△二等　五圓

△三等　本誌一年分(三人)

一、發表　本誌四月號

應募者は、男女に係はらず

大正五年三月一日

新眞婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雛祭の頃

唐澤純正

廣き野よ花さけり我は野にゆかむ、
空青み鳥なき我を迎ふる。

青く青く廣ごる海のふところよ、
小さき我身をいだきてむかも。

かなしく〳〵かつてお手に雛様を、
抱きし君の遠ざかりゆく。

人形の足とれたりと泣きし君、
ああ今我のものならなくに。

春の陽（ひ）は寂しく西に入らむとす、
電車の音もうらがなしけれ。

ああなどてかくても我は生きたりな、
戀の命は失せにしものを。

なまぬるき春風の吹く悲しさは、
更に加はらむ櫻さく頃。

朧月春の夜かなし靜かなり、
若き柔肌の乳にふればや。

風吹けば花さけば鳥なけば君なしも、
更に戀しき狂はしきまで。

母上のおくつきに泣かむひれもすを、
春來る春くる悲しきかなや。

生（い）くる身もすべて果（に）てかは此くろき、
つめたき土か我心靜か。

春雨の靜（しづ）に降り居るこよひしも、
よろづにすく〳〵生の芽ぐめる。

いゝ、じつとして居るさへ堪へられず風光る、
朝（あした）ゆふべに君を思へば。

ぼんぼりの光またたき桃の影、
ゆれて我涙白く氷るも。

電車走り春風吹きて塵たてば、
いら〳〵として頭狂ほし。

土の香（か）のしめやかにするたそがれに、
春雨しと〳〵靜に降り居る。

狂へ狂へ我心果てしなく、
狂へる我の樂しくもあるか。

（一九一六、二、一三）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童に健康上善き習慣をつけるには

フランク・エム・マクムリー

家庭に於ても、學校に於ても、兒童に健康上の知識を授けて行く必要のあることは、云ふまでもないことであるが、たゞ衛生上の書物を讀ませたり、話をして聞かす丈けでは、一向何んの効力もないものである。兒童の頭に成る丈け深く衛生、健康の道理を印せしむる爲めに、眼前の事例に引きつけて話すがよい、例へば何時も室内で仕事をして居る人の、青い顏して居ることを示して、日光と健康との關係を説くと云ふ風に！

又衛生學の試驗は、問題に對する答案のみにて採點せず、兒童の衣服、齒、眼、耳、鼻、其他を檢査し、日頃如何程まで健康に注意せるかを見て、之れをも加味して採點すべきである。斯くすると、兒童の頭へ入つた衛生上の知識が單に知識として止まらないで、幾分づゝ實行さるゝに至ることであらう。

更に進んで各兒童に、健康上宜しからぬ自分の惡習慣の一を報告せしめ、ソレに就て、例へば朝寢組、貪食組、などと區別し、向ふ六週間の間、朝寢組には朝寢をせぬ樣特に注意せしめ、又貪食組には貪食せぬ樣特に注意せしむることゝし、次には又他の惡習慣に就て同樣のことをせしむる樣にせば次第に兒童に、健康上善き習慣をつけることが出來る。

小學校の先生達も、世の父兄方もコウ云ふやり方で兒童に健康上、善き習慣をつけることに、氣をつけて欲しい。

* * * *

曾てシカゴで學齡兒童四百六十八人の體格檢査を爲せしに、中四百十二人には平均二ケ所以上づゝ治療を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

要する點があつた。齒の惡いものが三百十八人、眼の惡いものが百四十四人、鼻の惡いものが百三十八人もあつた。早く治療を加ふれば何んでもないが、齒の惡いのを捨て置けば消化不良を起し、鼻の惡いのをすて置けば、鼻カタル其他樣々の氣管の病氣を起す樣になり、又眼の惡いのを其の儘にして置けば神經衰弱を起すに至る。されば健康上善き習慣を兒童につけることに注意すると共に、父兄は又、時々醫師に兒童の體格檢査を願つて治療を要する點は、速かに治療して貰うて置く必要があると考へる。此の注意を怠る父兄は兒童心身の發達が、如何に此等の缺點の爲めに妨害されて居ても構はぬ、冷談無情の人であると云はれても仕方がない。

家族の健康と主婦の責任

醫學博士　石川貞吉

學校時代に習つた事で讀書や數學は卒業後も活用し日々役に立てゝゐるが、體操は捨てゝ了つて顧みない學校で一時間づゝ敎へた體操が何の爲めにだかさへ心づかずにゐる。あれは卒業後も家庭でやはり規律正しく運動の爲めにせよと云ふつもりだらうと思はれる。

又學校の體操の先生の多くが休職大尉か何かをつれて來て機械的に手足を動かす事を敎へてゐる樣だが、醫學とか病理とかの心得のあるものが聯絡をつけて敎へるとよいと思はれる。

殊に家庭にあつては、男子は多忙で怠り勝になるから、婦人が奬勵して家庭でも體操をする樣にして、學校に於ける體操を無意味に終らしめぬ樣にして欲しいと思ふ。婦人が家庭の健康について注意されると云ふ事は、此の上もない必要な事です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衣服に囚はれて居る日本婦人

ドクトルメヂチーネ　中島鎌太郎

日本婦人は元來運動を好まない、散歩をしやうと云つてもソレさへ大儀がる。某婦人などは外出する毎に車や電車ばかりに乗られるので、それでは不經濟でしやうと云へば、いゝえ五十錢や一圓で車に乗るのは經濟です。着物の裾を切れば數圓の損害になり、之を自分でつくらふとなると大變です、と云はれるが、それでは着物を着てゐるのでなくて、着物に囚はれてゐるのです。

西洋婦人などはスカートの裏に堅い〱容易に切れない布を當てゝ、其の上安全針でスカートを止め上げて活潑に散歩するが、日本婦人ならば第一息が切れて閉口して了ひます。それには衣服や住居からして改良しなければならぬが、全然改良しないまでもそれ等に頓着なく活潑にする必要がある。妻なども始めは散歩を嫌つてゐた樣だが、經驗して見ると散歩した後は精神が爽快になつて愉快な爲め大變好きになつた樣です衣服でも建築でも凡て實利と健康から割出して爲たいものだと思ふ。訪問服には立派なものも必要としても、散歩服には丈夫な氣のおけないものをしたらよからうと思ひます。

日本では外出して見ると脊蟲の樣に脊の曲つた婦人が多くある、あれは裁縫を一生懸命するからであらう裁縫や内職位脊髓や眼の健康に惡いものはないから、日本婦人には一層散歩や運動が必要であると思ひます

記者申す、本篇は嘗て結婚に先だつて健康診斷の必要を說きましたが、先生は先達御結婚の際其の前友人（醫師）に依賴して花嫁の健康診斷をなして貰ひ、結婚後は尚ほ念の爲めに生命保險醫をして診察せしめられた相です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本婦人の缺點

ドクトル　志村誠麿

日本の普通の家庭婦人に就て大變不滿足に思はれる點は、
第一、規律の缺けて居る事、
第二、能く働かない事、
です。此の二點が如何に男子に不滿足を與へ遺憾に感ぜしめてるか分らない。

西洋の家庭は如何にも規律がよく、朝第一鈴によつて下女も家婦も主人も同時に起きて、第二鈴で一同食卓につく、食卓がすむと如何なる大家族でも女中は十分乃至十五分で後片付けをする。其の間に主婦は卓、椅子、テーブル掛を直し、次の食事にすぐ間に合ふ樣にする。ソレからベッドの始末をして、夜直ちに寝に就ける樣にしておき、尚は各部屋〳〵の掃除は勿論、梯子段の手すりなど、末から末まで鳥の羽でぬぐうて了ふのであるが、九時迄には片付いて了ふ。

掃除が濟んで後、下女は十二時になるとチャンと食事の出來る樣に臺所の用事をしてゐる中に、主婦は書面をかくなり、職業ある人ならば出かける所へ出かけると云ふ風に、規律がいゝから餘裕があります。

第二の能く働く點を云つても、私が寄宿してゐた家の主婦などは晝も夜もよく働いた。主人の著書を夜十二時までもかゝつて發送したりして居た。男子は勉强さへしてゐれば、何もしなくてもすむ樣に、婦人が能く活動するのです。尤も亞米利加の婦人は大多數は皆カレーヂに行くから、大學を卒へた位の學力があるがなか〳〵西洋婦人は樂でない。

* * * * *

日本に來た西洋婦人がかう云ふ事を云ひました。「日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本の婦人は實に樂だ、中流の家庭でも長火針の側に坐つてゐる、上流婦人は尙ほ下女任せで働かない、その代り日本婦人は能く男子に擲られる。又それを當然受くべきデザールだと思つてゐる。』と

日本婦人だつて昔から偉い婦人も多くあつた事だから日本婦人にも出來ない事はない、けれども日本には上下一般に規律がないのである。日本で規律のあるのは軍隊丈けである、軍隊では規律を守らないと營倉に入れられる、嚴罰に處せられるから止むを得ず規律を守るので、歸つて二三年もすると直き後戻りする。軍隊で守れるものならば家庭でも守られないと云ふ事はないけれども出來ないのではない、仕ないのである。私は先づ家庭から規律と云ふ事を守る習慣を養なつて欲しいと思ひます。

切角私共外國に行つて來たものが、規律を守らうと思つても、婦人に規律なく守らないから崩れて了ふどうか婦人が主となつて規律を守らして欲しいと思ひます。

處が自分が日本婦人を見てゐると規律の守れないのも無理はないと思ふ。旅行をしても汽車に乘れば頭痛がするとか、食がすゝまぬとか云ふ樣に、健康が弱いから家庭の仕事も規律正しく又能く働けないのです。男子が論ずれば論ずるほど婦人は虛弱な處からヒステリーになる。併し又一面から云ふと不健康虛弱であるのみでない。頭が足らないからです。敎育程度が低く婦人としてゝなく男女共通の敎育が低く、頭腦が出來てゐないから、規律も守れなければ能く働く事も出來ないのである。丁度房州から來た下女に瓦斯のヒネリ樣を敎へても分らない樣なものです。良妻賢母なんて云ふ敎育は枝の枝で、人としての頭を養成しておけば位置によつて自由自在に活用されるわけであります。

婦人に頭が出來てゐない爲めに、日本には時間の經濟と云ふ事がありません。時間の經濟は金錢の經濟位ではない大切な事で、時間を失ふ事は生命を失ふ事であるらか實に恐ろしい。

英國の詩人が、時間を失へるは人生の破滅なり』と云つたのも宜べなるかなであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本婦人に虚弱者多き所以

青山腦病院長　齋藤紀一

なるほど西洋婦人に比して日本の婦人の方が弱い様に思はれる、がそれは左の様な事が原因して居りはすまいか。

第一西洋では男女同じ様に交際するが、日本では婦人が男子と交際するのを惡く云ふ位であるから、男女同等に交際しない。

第二日本婦人は運動をしない、西洋婦人は散歩、珠つき、ベースボールなども盛にする、祭日、日曜日には多く郊外で遊ぶ、又郊外には何處にもレストラントにダンシングホールがあつて男女共にダンシングを盛にし、ダンシングは小供の時から大人になつてもする。

第三西洋婦人には、職業でも何でも男子のする事は婦人にも出來ると云ふ自負心がある。

第四西洋では婦人を公然侮辱する様な事がない。例へば日本では公然蓄妾したり、藝妓にたはむれたりするが、西洋には決してそんな事はない。

第五日本では道徳の第一に忠孝を數へるが西洋では夫婦の愛情を第一にする位だから役所通ひか何かの外は、散歩はもとより訪問でも買物でも何でも夫婦づれでするのだから、あちらの方が婦人はよほど日本婦人より幸福であると思はれる。

右の原因が日本婦人をして肉體のみならず精神的にヒステリーならしめる所からして日本婦人に虚弱者病者が多い事とおもはれる。

（此は彼此比較統計して見たわけではないから、確實にあちらより此方の方が數の上でこれ丈の病者が多いと云ふわけではないが、貴女の趣意書に『日本の家庭に如何にも病人、虚弱者の多いのに氣がつき今更の如く驚きました』云々とある文句を見て、成ほど我々が見ても多さうに思はれる所から、其の原因はこんならのではなからうかと云ふ感想を述べたに過ぎません）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

難病治療の靈能者

文學博士　福來友吉

二三雜誌に、福來博士の證明付きで、難病治療の靈能者として武内天眞氏のことが紹介されて居たので、記者は一日氏を訪問しました。折りしも治療中で面會は出來なかつたが、福來博士が代て面會して吳れました。左は其の時に博士から聞き得た、お話の要點であります。

◎武内天眞氏は中學を卒業して普通文官試驗を受け、判任官になつて、二年間或官署に勤めて居た人です。

◎精神統一は中學に居た時分から稽古し始め六年間かかつて遂に神通力を得るに至つたものである。

◎或時夢に或所の光景を見た。其後仙臺から六七里の上下如來と云ふへ參詣せし所、其所の光景が夢中の光景と全く同一であつた。之れは不思議であると驚いたのが、同氏が精神のことに趣味を持つに至つた最初の動機であるソウです。其後友人と神通問題に就て議論をして居ると、ソコへ見知らぬ一人の老人が來て話を聞いて居た。其の數日後知らぬ人から手紙が來た、開封して見ると、曩きの老人からの手紙であることが知れた。文中には神通力を敎へてやるからドコソコの山へ來よと書いてあつた。同氏は此の老人を師として、神通力を得られたのです。老人は今、年が七十一か二今でも諸國を歩いて病者を治療して居るソウだ。老人の名は何れ發表する時がありましよう。私も面會して見たいと思うて居る。

◎武内氏の神通力に就ては、外の事はまだ私が目擊した理由でないから、保證は出來ないが、透視、念寫、念動、念縛、此の四つは確かに出來ます。

◎神經病、リユマチ、ヒステリー、強迫觀念腹胃の病、熱病、及び肋膜炎、肺炎などは、既に見事に幾人ものを治療して成功して居るが、癌が癒るかどうか實驗して見たいと思うて居る、ソウ云ふ病人がありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したらラヂユムで癌が焼けると云ふから、念寫の力でも焼けない筈はないだらうと思ふ。

◎精神療法では精神の方の病氣が癒り易いだらうと云ふのは、今まで其の方の實驗が多いからで、精神に直接關係のない病氣もダン／＼癒る所を見れば、多數に實驗して見ると、反て此の方が早く癒るかも知れない肋膜炎は精神の方の病氣でないが、現に此の間、此れが十二三日念ずると癒えた實例がある。

◎遠隔療法もして居る、念力に距離の關係はないのであるが。患者が近く來て居るのと遠く居るのとでは、念者の心持が違ふ。遠くに居ると、念者がどうしても其の心持になれぬと云ひます。

◎透視と云ふよりは透覺と云ふ方がよいでしよう。肉眼で見たのでは目分量に間違があるが透覺では、其物になつて了ふのであるから、少しの間違もない。透覺の場合に間違の起るのは、透覺をした人が自己へ歸る時に、想像的觀念が混入するからである。修養が積めばコンナ混入はなくなる。

◎科學でも、哲學でも、感覺を元とし、認識を基礎として立て居るものであるが、透覺は感覺を超越せるものである。ソコで今までの科學や哲學で論ぜられない問題が起つて來る、實在を論ずるには透覺を基礎とせなくてはならぬと思ふ。

◎又透覺は時としては誰れにでも出來るが、必要に應じて何時でも出來ると云ふ樣になるには多年の修養を要する。

◎ヒステリー性の女は、よく透覺するが、夫等は必要に應じて何時でもと云ふワケに行かぬ。大抵な女はヒステリー的であるが、此のヒステリーの精神狀態と、宗教の精神狀態は、酷似して居る。

◎醫者の言葉を借りて、假りにヒステリーと云つて居るが、女がヒステリー性なのには、何にか其所に深い意味がある樣に思ふ。婦人は何んだか男子よりも餘計に神秘界に連絡があるらしい。此の間も子供と活動へ行て、子を亡くして氣狂になつた婦人の事を見たが、其の時も、ヒステリーの女が個人離れをして何にか大

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なる使命の爲めに活動して居るかの樣に思はれた。婦人にヒステリー性のあるのは何にか生命の保存の上に必要があつて、與へられて居るのかも知れない。

◎婦人の研究もダン／＼深くなれば、コウ云ふ所へ觸れて來なくてはならない。

自然療法講義（三）

ドクトル　葛岡宗吉

寒さを恐るゝな

寒い風に當るな風を引くぞ、咳が出るぞ、リユマチなぞに罹る人の冬に多いのも、冷えるからだぞと云つて、寒さを恐れる人が多いが、之れは間違つた考へである。

寒さを恐れて一室に閉居し、新鮮なる空氣、水、日光、土等と遠ざかり、其の上に運動を怠るから、身體が次第に弱くなつて、或は風邪に罹り、或は咳し、又或はリユマチなどに罹るに至るのであつて、寒さ其者に罪があるのではない、罪は反て寒さを恐るゝ所にあるのである。

若し寒さを恐るゝ謬見より脱出して、反て如何に寒き日にても、寒風にも當り、日光にも當り、冷めたき水にて身體も拭き、又土をも跣足にて踏まば、其人の活力は增大するのみにて、決して前述の如き病氣に罹る樣なことはない。

若し油斷をした爲めに、風邪に罹つたり、咳をしたり、若しくばリユマチに罹ることあらば風邪や咳は要するに深呼吸の不足から來たものなれば、戶外に出て度々深呼吸を爲すがよい。兩手を握りて、右の手の拳を左の手の肘の所へ持て行き、左の手の拳を右の手の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肘の所まで持て行き、ソコで充分空氣を吐いて、兩手の肘を徐々後ろへやると共に空氣を吸ふ、之れを一日に二度、一度に六回位づゝ繰り返して居れば、直きに風も咳も退治して了ふことが出來る。又リユマチは運動不足と、日光に當り樣が足らぬのと、深呼吸の仕樣が足らぬ爲めとから起るものであるから、努めて戸外に出て日光にも當り、全身の關節に適當な運動を與ふれば直きに癒る。リユマチで惱める方は御出で下さい其方に適當する運動をお敎へ致して上げましよう。

發狂者に對する自然療法

私は今一人の發狂者を治療して居る。此の患者は今から滿一年前、或博士の診察を受け、其の博士から發狂者と診斷されて居たものである。爾來滿一年の間に種々の療法を試みたが、聊かも効のないのみか、ダンダン惡くなつて、患者は夜間眠られぬ樣にもなり、立て歩くと右の方へバタリ、バタリと倒れ、又箸を使ふことも不自由になつて來た。ソウ云ふ狀態になつてから私の所へ連れて來たのであるが、私は此の患者に先づ努めて深呼吸をさすことにした、之れは深呼吸をする毎に、鼻の粘膜に刺激を與へ、其の刺激が腦全體へ振動を及ぼして、腦の活力を増大せしむるの効あるからである。同時に首から脊骨にそうて、脊髄神經にマッサーヂを與へ、尙ほ身體全體に運動を與へて血液の循環を旺盛ならしむることにも努めた。之れを繰り返すこと一週間の後患者は安眠する樣になり、歩む時に倒れなくなり、箸も確かり使へる樣になつて來た。私は近く此の患者を全快せしめ得べしと確信して居る

心臟と自然療法

私は又、心臟病に罹れる一婦人を治療して居るが、心臟は直接に治療の出來ぬものであるから、其の心臟病の胃腸から原因して居るものであるか、子宮から原因して居るものであるか、乃至は腎臟から原因して居るものであるかを研究して、胃腸なり、子宮なり、乃至は腎臟なりを健全にすることに努めて居る。同時に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

深呼吸と至極輕微な運動とによりて心臟に活動を與へさして居る。私は此の間接方法によりて既に幾多の心臟病者を全治せしめたが、今回も無論成功することと信じて居る。

先生の診察を受けたき方は本社へ御問合せを乞ふ。（記者）

オキシヘーラーの効能

前島震太郎

何人もオキシヘーラーを其の使用要説の示す處に從ひ、適法に是を身體に作用せしむれば、僅か五分間にして忽ち全身の血壓量に三乃至五ミリメートルの亢進を來たさせ、脈搏を整調して强實とならしめ、且つ其の數を幾分增加させます尙三十分間之を繼續使用すれば十乃至二十ミリメートルの亢進を來たさせます、此の生理的現象は各種の血壓計に由つて何人も明かに計量し得る事でありまして、即ち全身の血液はオキシヘーラーを使用せざる以前よりは、その壓力が亢進し運行の速度が增進したと云ふ事は明かに認められる事實であります、血壓が亢進すれば呼吸が深大となり。呼吸が深大になれば肺臟は多量の酸素を吸入する道理で、此の酸素を多量に抱容した肺臟内を本器の力によつて亢進された血液が敏速に通過するが故に、一定時に行はれる血液と酸素との結合は、玆に於て敏活に完全に行はれ、多量の酸化ヘモグロビンを生じ、血液を新鮮にするのでありまして、此の新鮮になつた血液は血流に隨つて體内の各器官に到り、其の機能をして生理的に完全なる働を成さしめ、體内の老廢物質有毒物等を、各排泄機能によりて體外に驅逐するが如き新陳代謝の作用を盛んならしめ、次第〳〵に自然の本能を復歸して疾病を根治し健康を增進するのでありますから、此

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の合理的の理由は何人にも直ちに理解される事と信じます、譬へば澱んだ流れざる水は黴菌を生じ遂に腐敗して臭氣を發する樣になりますが、流れて停らない水は常に清新にして、腐敗する樣の事は決してありません、是と同じ理由でオキシヘーラーを使用すれば全身の血行が快速となり、新陳代謝を盛ならしむる結果、元氣旺盛活力充實して人間自然の純健康力を得るに至るのであります。

此の事、近頃はダン／＼文士の間にも認められて來て新潮社の主人などは、本器を購求して熱心に使用されて居ります。

尚ほ使用法に就ては東京牛込簞笥町三十一番地オキシヘーラー奬勵會へ申込まるれば直ちに御送り致します。

百日咳の手當

吉岡彌生

百日咳は素人はあゝ百日立てば、醫師にかゝらなくても治ると云つてすてゝおき、醫師にかゝつても早く治るものではないと云ひます、成るほど目下ではこれと云つて百日咳の直接直ぐ治る藥はないかも知れませんが、それでも咳を輕くしたり、餘病を起らない樣にする手當は出來るのであるから、やはり醫師についた方がよろしい。此病氣は餘病が尤も恐ろしいのです。

餘病は肺炎、腎臟炎、腦膜炎ですが、百日咳の後に來る肺炎は尤も性質が惡い、長い間の病氣で衰弱してゐる處への肺炎だから、急性と違つて、命を取られる事が多いのでよほど注意しなければなりません。百日咳ははげしいのになると、咳が出て食べた物をはき出して了つて、自然衰弱がはげしくなるから、食物は消化のいゝものを與へ、少しづゝ幾度にも取らせるがよろ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しい。第一部屋の空氣の溫度を平均させ、湯氣をたてておくがよろしい。一日に數回吸入をさせ、あつい湯で濕布をするとか、又多人數集まる處へつれ行かぬ樣學校に行く子供ならば、(學校は何と云つても塵埃が立ち易いから本人の爲めにも又他の小供の爲めにも傳染するから)絕對に休ませるがよろしい。仲々五日六日とちがひ長い病氣であるから、つい不知不識おろそかになり易いのですが全快しかけにも注意を怠つてはなりませぬ。この病氣は空氣傳染であるから、消毒するわけに行かないから、一人の小供がか丶れば他の子供にもか丶ると思はなければならぬから、消化をよくし、冷やさない樣にして抵抗力を養つておくより仕方がありません。

家庭衛生 治療と調劑

滑川醫學士
河合醫學士
滑川千葉醫學士
鴨田藥學協會主幹 共著

此書は重要なる各種の疾病を網羅いたし之を十七の部門に分類し、各部門に於て一般的に其の部門に於ける病の關係を汎論し、次に各病に就てソレ〳〵原因、症候、治療法並に調劑法等を詳細に述べ、尙ほ各部門の衛生を說き、專ら素人の實用に適する樣に編纂せしものにて各家庭に一本を備へて置くべきものである。敢てこれを推選す(定價二圓八十錢東京本鄉丸山福山町四日本藥學協會)

述懷

南湖院長 高田畊安 詠

あまつかみ　ぬしを　みおやを　おもふわれ
このよの　きよは　ふもとふくかせ

吾友へ

はじめあり　いかで　をはりの　なかるべき
きみが　おもひに　こたへざらめや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人間と土地と食物との關係

食養會理事　西端半月

（一）

今日の日本の學者は人間と食物の直接關係のみを精査して、土地の寒熱乾濕やら、各人の體質勞逸の差やらを加味して考へないので、遂に日本をして世界第一の病人國、殊に世界第一の肺病國たらしめんとして居る。されども若し我等の主張する化學的食養法を實行せば、必らずや我日本をして世界第一の強健國殊に世界第一の無肺病國たらしめ得べきを信じて疑はないのである。

我等は日本の氣候風土と數千年來の習慣とに適合せる、本邦の主産物たる水田耕作の粳米を少なくとも無砂七八分搗と爲して、（若し四五分搗と爲さば更に可なり）、主食物に供し、其量は臼齒たる奥齒の能用と員數に應じて、食物全量の六割乃至七割を喫することにすべきであると、主張するものである。

副食物中の動物質は、土地狹まく海洋廣き關係と、風土暖濕なることから考へて、地産物たる鳥や獸の肉や卵を極めて少なくし、海産物たる魚類を比較的に多くして、其の量は犬齒たる糸切齒の能用と員數に照し、食物全量の一割乃至二割を喫せしめよと主張するものである。又副食物中の植物質も、土地狹く海洋廣き關係と、風土暖濕なることから考へて、四面の海洋より自然に産出する海藻類、山産物及び畑作物を切齒たる前齒の能用と員數とに照し、食物全量の二割乃至三割を喫せしめよと、主張するものである。ソレで副食物は動物質、植物質合せて三割乃至は四割を以て程度とし、主食物六割至乃七割の程度で、合せて腹八合にさへ食べて居れば、全く古語の通り腹八合醫者入らず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で一生を過ごすことが出來る。

日本人は昔から、米は水のみにて炊きて食べ支那人などの樣に肉汁類を混和して食べて來て居らぬ。ソレで混砂搗精選純白米は如何にも土臭くて、食べにくい、其の爲め自然餘計に副食物の力を借りて食事を爲すに至り、斯くて前に述べた副食物と主食物の比例を破ることの甚しくなつたのと、混砂搗白米の表面に穿入固着せる砂粉は如何に淘洗しても十分には離脱せず、胃腸に入つて不消化を起せしのとから、混砂米は各種の病源たることとはなつた。

古來日本農家の厄日と云はるゝ、二百十日前後の洪水で、稻が水をかぶりて籾に泥のついたのでさへ、米の香味を損じ、人の嗜好を害するので、泥被米と稱して排斥せられたものである。泥被米さへ斯く排斥されたものなるに、米の表面に直接穿入固着せる混砂米を、今日人々が平氣で食用にして居るのは、如何にも不思議である。

嘉永年間に、甲斐、尾張、美濃の山間より出づる砂を用ゐて米を早く搗白することが流行し始め、一時早搗粉と稱して販賣されたが、此の米を食する時は人畜共に發病するので、幕府は之れを嚴禁した。然かるに明治大正の政府は之れを禁せず、學者も之れを攻擊しない遺憾なことである。

若し水田耕作の粳米を、無砂米搗飯と爲せば之には其の軟化成分たる澱粉質、蛋白質は勿論、糠の中に含有せる脂肪、繊維、其他各種の灰分たる硬化成分も幾分は殘つて居るので之れと共に副食物として蔬菜の甘皮及び魚鳥の骨成分を含有せる者を、多少鹽氣油氣の強き料理で、攝取せば、硬軟の兩成分完備して、粳玄米の成分と相近くなるから、各人の口に適するに至るのである。且又、之には海洋、山野、畑地の各產物を平等に併用して國民の經濟を安固たらしむるの利益もある。

世には玄米食を主張する一部極端の論者もあれど、玄米飯を主食物と爲すときは、玄米には硬軟兩成分完備せるを以て副食物の必要なく、此の海洋、山野、畑

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地の副產物を利用すること能はずして、限りある水田の主產物たる米穀のみを專用せざるべからざるの不利を招くに至るのである。

論理上より云へば玄米飯を主食とせば、副食物は入らぬのであるが、實際上から云へば、今の人には玄米飯は不味から、玄米飯を主食とせば、自然餘計に副食物を食べることとなりて、硬軟兩成分の釣合を破壞するから、自然不良の結果を誘致して不良の結果を生ずるに至る。混砂純白米なる前門の虎を防ぎても、玄米多菜なる後門の狼を呼ぶ様なことでは何んにもならぬ

玄米雜炊又玄米粥な、特殊の虚弱者に食せしむる場合は別である、此の場合には殆んど藥用に近き効力がある。

（二）

諸君は北極寒帶に近く位する英米間の氷島の氷雪裏に蟄居し、魚漁獸獵を以て生活せるエスキモ人を知つて居るであらう。此の人種は極めて稀に苺及び海藻を副食物として食べる外は、白熊、馴鹿、鱈、鰊等の如き、寒地寒海の動物の肉と卵を生で食べ、其の血や脂を生で啜つて居る、絶對的肉食の人種である。けれども其の地其の季の主產物を主食物とも副食物とも爲し、これが天然の法則に叶うて居るので、絶對の肉食ながらも、彼等は能く其の生を保てるのである。

淨土門教行信證身化土の卷に身土不二の語あり、洵に然かり、人身は實に其の鄕土と相關して相離るべからざる關係を有するものである。此の理は動植物にありても同じことで、支那に於ては昔から、江南の橘は之を江北に移せば枳と成るとも云ひ、鸜鵒は濟を踰えず、貉は汶を踰えれば則ち死すとも云つて居る。日本に在ても、北海道の林檎は九州に適せず、九州の枇杷は北海道に適しないのである。されば若し內地人にして臺灣に轉任せしものが臺灣の主產物を主食とも副食物ともせずして內地の產米を主食物としつゝ、內地にありし時同樣、肉食を爲すに於ては、忽ち病氣に罹り、死なぬまでも常に惡い血色をして居ねばならぬことになる。佛書の舊說、決して人を欺かぬのである。

歐米北部の開明諸國及び中央亞細亞、西藏、蒙古、滿洲などの如き半開地は、何れも氣候寒冷、大氣乾燥

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して芻秣の製造貯藏簡易至便なるも、水田に米を作る丈けの太陽の溫熱と水がないので、彼等は皆な牧畜を主業とし、隨て其の主產物たる動物を主食物と爲して居る。之れ身土不二の理と、經濟關係上然からざるを得ないのである。

但し肉類を主食とせば、秘結毒と壞血毒に苦しむ恐れがあるので、彼等は注意して牛乳及び牛乳の製品を副用し、且つ各種の果實をも食後に併食して居る。

肉類主食の冷帶地に在りては、固より水田米を產せざるを以て、經濟上及び攝生上、自然の原則によりて、陸稻、殊に麥類を併食とするに至つて居るのであつて、元より道理あることではあるが、日本人中に小麥粉や白麵麭を賞讚するものあるは、何んのことだか分らないと思ふ。

赤道直下の諸國及び南洋諸島の如く太陽の光線殆んど周歲直射し、且つ海上の鹽分多量に蒸發する熱帶地方にありては、人身の鹽氣油氣をぬきて肉體を淸涼ならしむるものを、主として食べねばならぬのであるが、ようしたもので、熱帶地には此の目的に叶ふ芭蕉實、夏蜜柑、鳳梨の如きが多く產出する。熱帶地に於ても攝生の道に叶ふことが又實に經濟の道に叶うて居る。

以上述べた所で、氣候風土の相違によつて、主產物が違ひ、隨て人の主食物、副食物も違つて來る事實法則が、略ぼ明かとなつたから、我等日本人の何々を主食とし、何々を副食物とすべきものなるかは、略ぼ明かであると考へる。

（三）

則ち日本は氣候溫暖にして、水田米作に所要の溫熱充分なると共に、四面の海上より蒸發する水分甚だ多くして、水田米作の水にも缺乏しないのであるから、身土不二の法則を遵奉し、我等の最初に主張せし如く、無砂半搗の粳米を主食と爲し、畑作物、山產物、及び海藻類に魚鳥或は少量の獸肉を加味して、各種の漬物を併用すべきである。

然かるに今日の日本人は身土不二の原則も、公私の經濟も兩ながら忘却して、たゞさへ土地の不足せる小島國裡に牧場を選擇して肉食をすゝめ、牛乳を飲み、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

果實を食して、知らずしてとは云へ、自から肋膜、肺病、腎臓、癌腫等に罹りつゝあるのである。

中學にて神經衰弱、高等學校にて肋膜、大學にて肺病、卒業の喜びと、死亡の悲みと踵を接すること珍らしからぬ有様である。

殊に中流以上の家庭の女子に至りては、好んで芭蕉實、夏蜜柑、林檎、梨等を多食するので、多くは貧血症に罹り、其の腕首、手甲には緋鹿子模樣の如き火皰簇生して、妙齢の身を以てして七八十の老婆の終日火桶を擁する者と少しも選ぶ所がない。

此等の女子は盛夏の候と雖も、必らず手足は冷却し、頭腦は逆上し、又其の月經は不順にて、子宮は氷塊の如き有様であらう。

斯く日本は、たゞ食物の撰擇攝取を誤りしことの爲めに世界第一の病人國、殊に肺病國たらんとして居るのである。之れ豈、志士仁人の起て正食の論を絶叫すべきの時ではないか。

土の福音

西川光次郎

左はアドルフ・ジャストの名著『自然に歸れ』の一節を抄譯したものである。

(一)

兎や鹿は寢る時には木の枝や草を搔分けて寢る。野猪も裸體の土の上に寢る。狐や穴熊は其の穴の中へ色色なものを引張り込むが、併し寢る所丈けは裸體の土にしてある。病める豚を檻から出してやると悦こんで土の上に寢て、病は之れによつて癒ゆる。

私は樵夫から野獸は傷を受けると、直ぐ其の傷へ泥を塗ると云ふ話を聞いたことがある。獵夫から犬が怪我をした時、其の傷へ泥をぬつてやると癒ると云ふ話を聞いたことがある。又或老農から昔は傷をすると泥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をぬつたものだ殊に馬の傷には泥がキイたものであつた』との話を聞いたことがある。

私は右の如き事實から、土に病を癒す力、健康増進の力がありはせずやとの、考を起した。而して此の考は、左の如き事實を耳にするに及んで、更に確かめらるゝこととなつた。

（二）

私は或時、或新聞で『或村で二十歳の女が蛇に咬まれて、見る／＼中に其の兩足が腫れた、醫者に診察して貰つたが、モウ駄目だと云ふ。其の時に其の父は、數百年前に此の村で一人の女が蛇に咬まれた時、穴を掘て土中へ數時間、首丈け出して埋め置きしに全癒したと云ふ話を想起し、其の通りにした所、六時間にして果して全癒した云々』との記事を見たことがある。

私は或人から自分は今より二十五年ばかり前、南亞不利加に居た時分、或日土人を御者として散歩に出かけたが、途中で馬車が顚覆して御者も自分も足を折つた。自分は白人の醫者にかゝりて、之れを癒すに六週間を要し其の爲めに千圓から費ひしにも係はらず、御者は穴を掘りて土の中へ折れたる足を埋め、五日間で全癒した云々との話を聞いたことがある。

私は又セサリヤの近くに住むベデュインスと云ふ土人は、熱病にかゝると、身體に泥を塗りて之れを日光で乾かし、やがて泥の乾く頃には病が癒えて居ると云ふ話を聞いたことがある。

ソコで私は、いよ／＼土に病を癒し、健康を増進するの力あるを信ずるに至り、之れを實驗して見ようとの念が强よくなつた。

（三）

私は之れを我身に試みた上で、數千人の患者にも試み、一の失敗もなく悉く成功した。其の實驗の結果を發表すれば左の如くである。實驗の結果、私は、土を冷水で濕めして塗つて置くと、傷でも、腫物でも、一切の皮膚病でも全癒すると云ふことを知つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一切の熱病の場合に、身體へ泥を塗ると熱が下ると云ふことを知つた。

肺の惡い場合には肺の上へ、心臓の惡い場合には心臓の上へ、胃の惡い場合には胃の上へ又ヂフテリヤの場合には首の周圍に泥を塗るとよいと云ふことを知つた。

頭痛の場合に、首の頂へ泥を塗ると善いと云ふことを知つた。

眼や耳に痛みある場合にも、眼や耳へ泥を塗れば、痛みが直ぐに癒ると云ふことを知つた。腹へ泥を塗ると下腹部の病氣の場合によいと云ふことを知つた。

夏なぞ裸體で土の上へ、毛布をかぶりて寢ると、大變身體の活力が増えると云ふことを知つた。

土を、人間の身體の長さ及び幅よりも、長さも幅も少しく大きく掘り、其の中へ患者を仰臥さし、首から上丈けの外は、土で埋めて、毎日三十分づゝ置くこととせしに、患者は日に日に元氣になつた。

足が冷えて困ると云ふ人を、毎日三十分か一時間づつ跣足で土の上で運動さし、冷水で足を洗はすこととせしに、暫時にして彼は足の冷えると云ふことを知らなくなつた。

又神經衰弱の人を、跣足で土の上を毎日三十分位づつ歩かすこととせしに、此の人も暫時にして健康な人となつた。

斯くして私は土の効能を高唱するの人となつた。私は斯く信じて居るので、希臘の神話に

ヘラキユースは巨人アテヤスと戰ふの時、アテヤスの足が地より離るゝの時、彼の力の弱くなることを發見し、彼を空中へ抱き上げて倒した。

とあるのを、意味深く考へさゝるゝのである。

譯者申す、今日の事情と、吾々の身體の現狀とは、到底絶えず裸體で土と交はることを許さないが、併し私はヂヤストの此の說に一理ありと思ふのでせめては時々泥の中へ我が身體を埋めて見たり、毎日少なくとも三十分は、跣足になつて土の上で運動したいものと考へて居る。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社は今囘、ドクトル渡邊鼎先生、ドクトル葛岡宗吉先生等の賛助を得て、健康顧問會を組織し、今後大に健康に關する知識の普及に努力するつもりである。それで本誌上にも健康に關する記事を掲載しますが、尚ほ時々演說會をも開らきます。其の第一囘演說會を

健康顧問演說會

▲時　三月廿六日午後零時半より

▲處　神田橋際、和強樂堂にて

▲辯士及演題

開會の辭	西川文子
斷食療法に就て	西川光次郎
自然療法に就て	ドクトル 葛岡宗吉
美顏術と心理學	新歸朝者 高木陳平
健康上日光利用の色々	ドクトル 渡邊鼎
齒の養生	ドクトル 志村誠麿
家庭を圓滿にするには	吉岡彌生
無病長生	高島米峯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭健康顧問會趣意書

私どもの專門にして居る家庭問題の研究中、私共は日本の家庭に、如何にも病人、虛弱者の多いのに氣がつき、今更の如くに驚きました。而して又此の家庭に病人や虛弱者の多いことが、如何に家庭の圓滿を妨害して居るかと云ふことにも考へ及びました。斯くて健康に關する知識の普及を計ることは、目今の急務であると感ずるに至り、此の事をも『新眞婦人』の一使命たらしめんとて、今回家庭健康顧問會を發起しましたのです。

されども微力なる私共の力のみにては、此の會の目的を達することが出來ませぬから、諸先輩の御贊助を仰ぎたいと思ひます。幸に諸先輩の御贊助を得ば、獨り私共の悅こびではありませぬ。

贊助員御芳名（承諾順）

醫學博士　石川貞吉
ドクトル　渡邊鼎
醫學博士　高田畊安
ドクトル　中島鎌太郎
ドクトル　志村誠麿
加命堂腦病院長　奈良林菱條
青山腦病院長　齋藤紀一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處女の地

中尾フサ

お約束ですから書いてはみますが、こんなことを書かうと思つて考へてゐたのではありませんから、材料と材料の列べ方も支離滅裂と思し召せ。

初めて私共が自分達の家を持ちましたのは大阪の町のまん中で、草花一つ植ゑる事の出來ない、家のぎつしり詰まつた所でした。それから間もなく阪神間の郊外へ出ました。そこは海山の眺めもある、至つてのんびりした所でしたが、家は狹くて、どうも充分思ふ様にならないこともありました。唯今の家も隨分永くゐますが、決して私共の氣に入つて動かないのではありません。それで近頃は自分達の氣に入つた家を造りたいものと考へだす様になりまして、色々あたまを惱ましだあげくが、家は家として、今度は又これぞと思ふ様な土地が得られない事になつたので困つてゐます。こんなに申しますと、皆様はどんな家や土地を望んでゐるのだらうと思召すかも知れませんが、家の事は複雜になりますから、たゞ土地丈の事を極手短かに申せば、まあ『處女の土地』とでも謂ひましょうか。世間の人達のまだけがさない所を望んでゐるのです。然し私共だつて瓦斯や水道と云ふ様な二十世紀の便利な恵みにあづかりたくない事はありませんが、それよりもむしろ美しい清らかな谷川の流れでも汲み揚げて炊事がやつてみたいぐらゐに思つてゐます。

私は一日の内多くの時間を子供相手に家に暮しますが、夫は日曜日の外は毎日ずゐ分うるさゝうな雜務に日の大部分を消して夕方でなければ家に歸らないのですから、私共はなるべく靜な所で、又空氣のいゝ所と平凡に望んでゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共は只今三人の子供と一人の女中との六人家族で外に山羊が一匹、白いめんどりが三羽ゐますが、めんどりは「ア」「ベ」「セ」と呼び分けまして、毎日玉子を產んでくれるのを家庭の一つのたのしみにしてゐますそして又近い内に、山羊は必ず二三匹の子を產む事になつてゐますから、其時分にはずゐ分にぎやかな家族になると思つて、毎日たのしんで待つてゐます。

關西の方ではあまりやらない事ですが、こちらでは毎朝どこのうちでも大抵噌味汁を造るのがきまりの樣になつてゐますが、私共のうちでもやはり長男は朝早く熱い噌味汁をすゝつて學校へ行きますから、私は其味噌汁の代りに山羊の乳を飲ませたいと思つてゐるのです。私共は斯う云ふ樣に、どうかすべての事になるべく自然のまゝで人手のいらない物をと望んでゐますそれは强ち食物に限つた譯ではありません。――それで子供等の敎育法もなるべく自然にまかせて、おさへない樣に、まけない樣にと、私は唯毎日そればかりに氣をとられてゐます。なるべく自然のまゝにと思ふ一例としてお話しますれば、私共の子供等は男の子も髮をからないで長くしてゐますが、他樣から御覽になれば、次男などは一寸女の子ではあるまいかと思はれる程になつてゐますから、時々とんだ愛嬌ばなしもあります。然しこれも私共が見て極自然の姿の樣に思はれますので、子供等が自身の好みの出て來るまでは放つて置くつもりでゐます。それで、ながくのびた髮を寒い風に吹かせて、凧をあげて居るときや、又は『おかあちやん、「ベ」が玉子を產んでゐたよ。まだすこしあたゝかいよ』などと言ひながら、白いきれいな玉子を小さい手に握つて鳥小舍から出て來る樣子は、それはずゐ分面白い、いかにも邪氣のない、飾らないよろこびを顏一杯に見せてゐます。

まあこんなにして子供等が動物に親しく致して其面倒を見てやる事を、私共は大變に貴い事の樣に思ひます。それで私共は子供等の爲めに、少し手廣い土地を借りまして、小さい住居を造り、雨や風に日光にさらされて、極々自然に近い、そして世間に遠い田園生活

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ血の道藥

奏効確實なるは
ホシクスリ

ホシ
血の道藥
月經、子宮病、ヒステリー其他
婦人病
定價 小包二貼入 十錢
箱入四貼 卅五錢
同七貼 六十錢

ホシ
婦人座藥
子宮の痛み、膣カタル、痳毒性
子宮病、月經時の疼痛等
定價 三個入 廿錢
九個入 五十錢
廿個入 一圓

其他製劑四十餘種市內及全
國各特約店にあり

資本金百萬圓
星製藥株式會社
東京京橋
電話京橋特一七一八五 振替東京二〇五二二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二二〇〇、二二〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

●らい病（びやう）

患者（くわんじや）と血統（けつとう）者（しや）に急告（きふこく）す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二　福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂 帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネル　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電 芝二七四四 芝二六六五 芝三六七五

腦病精神病專門

東京田端　電話谷二二〇二番

東京腦病院

院長　後藤省吾

醫學士　黑澤良臣

カタノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり（五錢●十錢●二十錢●五十錢）
全國到る處の藥店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目　東京製藥社

岸田 精錡水 目薬

東京銀座
精錡水本舗

▲目藥のオーソリティー▲

定價 五錢 十錢

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

岸田吟香商店

電話京橋 六一五
振替東京 四七八七

にきびとり 藥しやぼん

にきびをとり●ひぜん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に効力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

定價 小五錢 大十錢
送料 一個二錢 一打入一函八錢

かつけリウマチス患者は
有名なる克快丸を七日分試みよ

KWANKOKKWAIGWAN
リウマチス 克快丸 かつけ梅毒

藥價 半週間卅五錢 七日分六十錢 送料二錢
半月分一圓廿錢 卅日分二圓半 送料二錢

ばいどくは複方克快丸を
最良とす 七日分七十五錢 十五日分一圓五十錢 送料二錢

東京淺草なみ木町 岡田順天堂

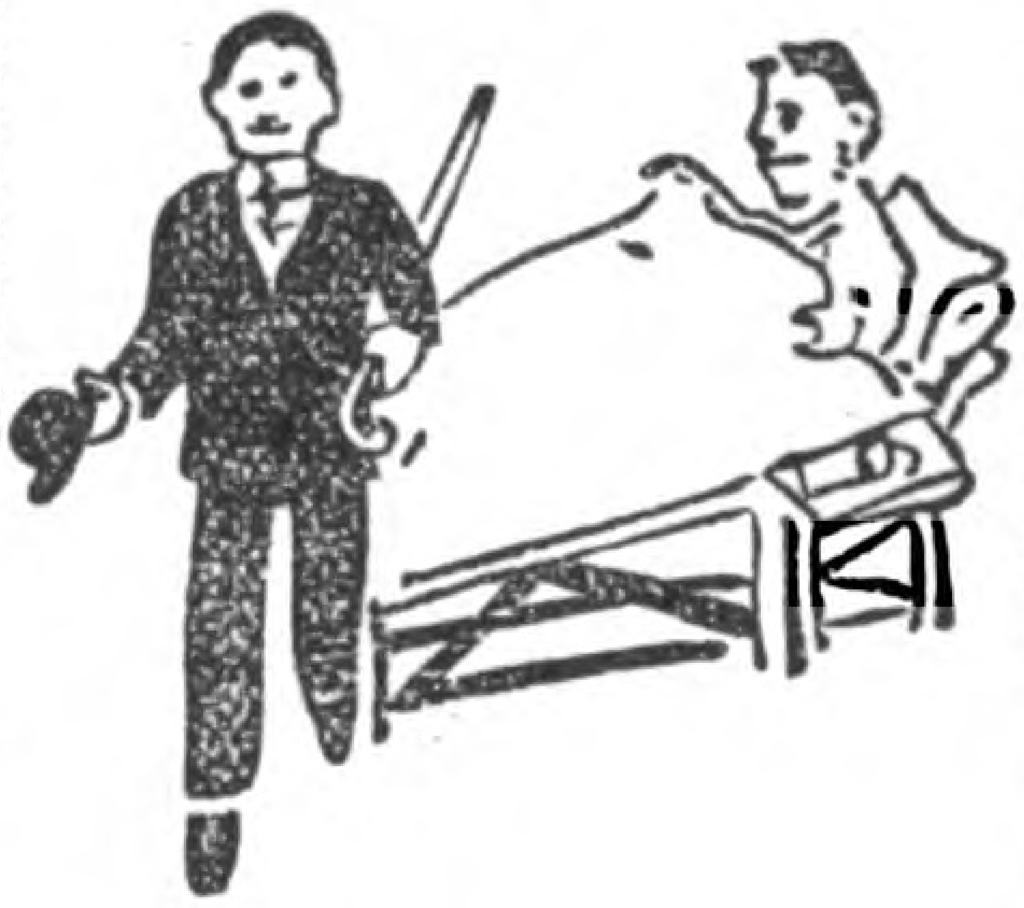
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かぜねつに

實效散

甲「君今來たばかりで碌に容體も聞かずに歸るとは大に冷淡ぢやないか

乙「ナアニ君の枕元に實效散があるのを見て安心したのさ」



主効　四季の感冒、流行性感冒、ねびえかぜ等總て熱ある病に卓効あり

藥價　金拾錢　金貳拾錢　金五拾錢　德用　金壹圓

東京市神田明神下　振替東京一三七二
一二三本舗　師岡天然堂

資本金　五百萬圓

丁酉銀行

本店　京橋區宗十郎町
支店　日本橋區吳服町
同　深川區富吉町

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

輸出入各種最新式

萬年筆 卸小賣 業

其他

○陶玉萬年筆 各種

○人造水晶筆 各種

ラセン筆 各種

東京市淺草區駒形町電車停留場

合資會社 共盛社營業部

電話下谷六〇一九

振替口座七二四三

家傳靈藥

ぢの薬

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の家傳靈妙薬あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の説明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製藥本舗 小松盛林堂

電話京橋二九七

産婆看護婦派出

生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團 産婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部 大崎支局

産科婦人科

小兒科

宅診午前 往診午後

内藤新宿番衆町三一

女醫 井出茂代

電話番町三六七七番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科
婦人科

篠田病院

（入院随意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町

電話下谷四〇六八

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世。大勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科

泌尿器科　腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科　男女生殖器機能障害

婦人科

日本橋區通二丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長　ドクトル メヂチーネ　中島鎌太郎

新設　芝區田村町十三番地愛宕下町通り

中嶋醫院

於東京大正博覽會

銅牌受領

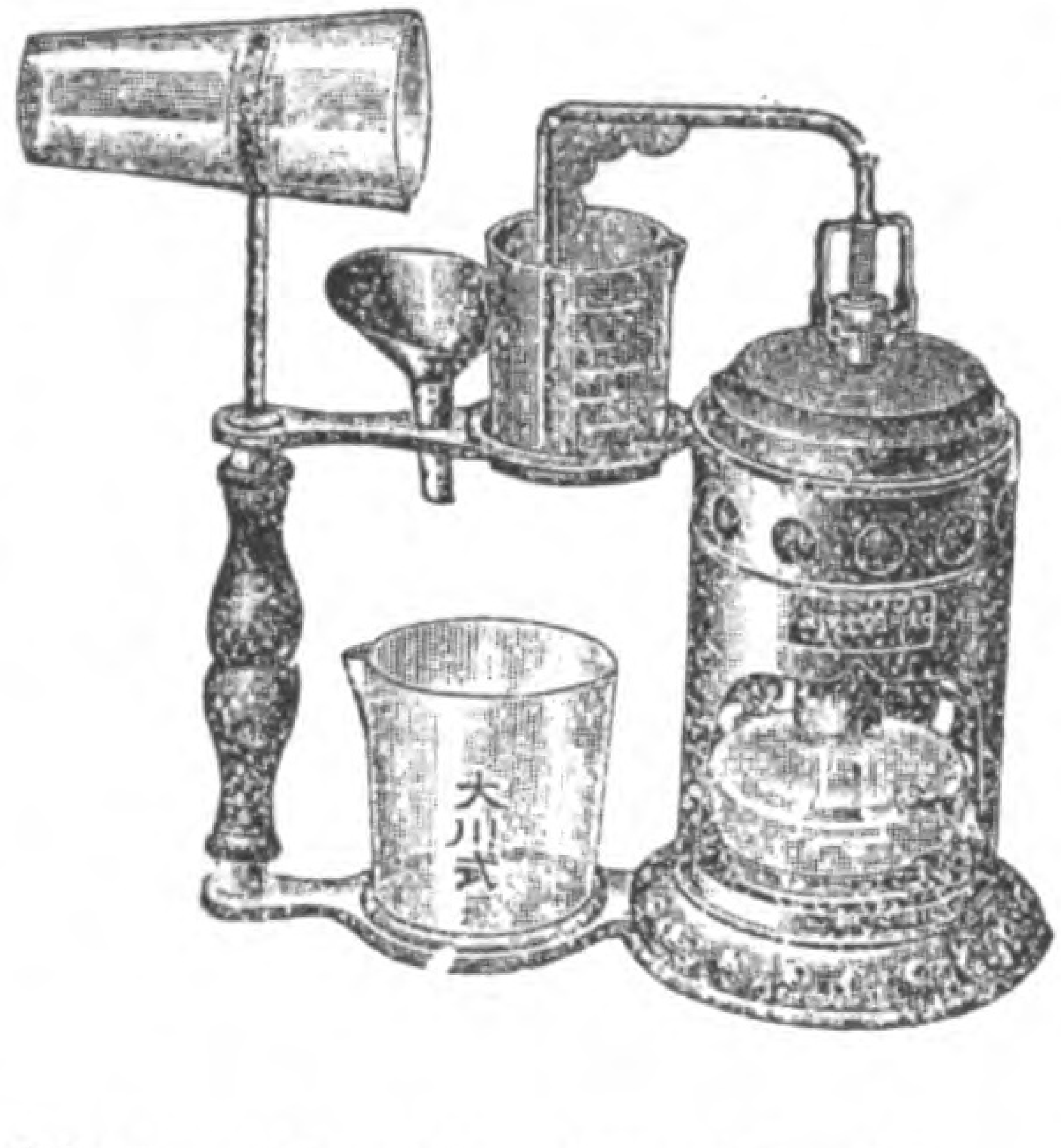
最新特許

大川式安全吸入器

最新特許

事實は何よりも之を證す、大正博覽會に數ある同種出品物中銅牌を授與せられたるは唯獨大川式吸入器のみ

絶對に安全なる大川式安全吸入器



特長

■釜は金屬絞出製（スプリング）に依り安全瓣をなせば破裂の憂なし
■釜は大形にして約百五十瓦の容量にして藥液コツプ六パイ迄は吸入持續す
■滴は前後に垂る事なく漏斗に依り下部の滴受に流入す
■酒精洋燈の下部は硝子製なれば酒精減少有無明瞭す
■注水の際漏斗を釜へ差入注水して排水の場合は漏斗を釜へ差入たる儘排水す
■ゴム引胸掛布一枚宛吸入器へ添付す

壹具金壹圓八拾錢　送料　內地拾六錢　殖民地四拾錢

各醫科器械店及有名藥店にて販賣す

發賣元

大阪市東區道修町三丁目　電話本局一三八九番　振替口座大阪三五〇七番　村中兄弟商會
名古屋市東區京町二丁目　電話二〇七番　振替口座東京八二九七番　八神幸助
東京日本橋區本銀町四丁目　電話本局一六八五番　振替口座東京一九六〇番　（いわや）大川銀三郎
朝鮮京城南大門　新井大藥房
朝鮮釜山辨天町二丁目　日清製藥株式會社

をして見たいと思つてゐます。然しまだこれときまつた土地を見附けないのですから、たゞさう思ふばかりで、何事も實現されてはゐません。いづれ近い内には必ず私共の自分達の家に對する多年の望みを果したいと思つてゐます。

――こゝまでは先月お目にかゝつた後二三日の頃に書きましたのですが、書きすてゝ其まゝにしてゐる内に又一月を越しましたので、私共の考もやうやうきまり、周圍の事情も私共を誘ひ立てまして、とうとう中野の原の富士が見える小高い丘に可なりな家を建てる事に餘儀なくさせられました（二月十五日夜）。

創作

お溫習會

山本勇夫

それは晩秋の頃でした。

或る文學會の茶話を催す爲めに、私は友達のM――と、A――と同伴だつて、江戸川の貸席春風亭に行きました。

『まだ早いよ。』と、M――が言ひますのも聽かずに、午後五時開會といふ豫定の時刻よりも三時間も早く、私は二人をせきたてゝ春風亭に行きました。しかるに春風亭では、何かの會が催されてゐるらしく大さう混雜してゐました。何の座敷も何の座敷も、みんなふさがつてゐて、自分等が通る座敷はありませんでした。

その會は、琴曲のお溫習會でした。中央の廣い席には、紅い毛氈が敷いてあつて、三つ許りの琴をならべて、丁度演奏が初まつてゐる處でした。聽き手は一ぱいにつまつてゐました。それが、みんな婦人で、かつ若い人等なので、私の目は照りかへされるように感じました。他の座敷では、お辨當が初まつてゐるのや、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

着物を着替へてゐるのやで、ごちやごちやしてゐました。高島田の裾模樣や、吉彌結びの友仙模樣や、束髮の紋付姿が、丁度花のように、一面に咲いてゐました。赤でも紫でも、乃至は靑でも黃でも、色彩といふ色彩が、互にその特色を競つて居りました。

『少し聽いてゐようぢやないか。』

私には琴が分りませんけれど、とりどりの美しい姿の若い婦人を見てゐたい爲めに、かう言つて、その座敷に上りました。二人の友達も一處に上りました。

琴曲は、漸く佳境に這入つたと見えて、聽衆はしづかにしてゐました。金色の平打や、桃色のリボンや、花簪や、金糸が小波をうつて、化粧品の香が漂つてゐる座敷を、のどかな琴唄と、淸々しい琴の音律が領有してゐました。

『爲樣がないから出直して來ようよ。』

A――は、私の袖を引いて、つまらなさうに私を促しました。私は、お辨當を使つてゐる座敷の、お土產のリンゴの菓子籠を下げて、嬉しさうに笑ひさゝめいてゐる、お琴よりもお菓子であるらしい、少女の可愛い一群れに惜い目を殘してそこを出ました。

三人が、時刻を計つて、また戾つて來ても、お溫習會はすみませんでした。が、自分の方の座敷を明けて呉れたので、私等はそこに通りました。招待した先輩の二三人も來ました。開會の時刻も迫つて來ました。けれど、來會者は一人も見えませんので、私等發起人の者は氣が氣でなくなりました。

『君、門の處に出て見張つてゐたら何うだね。』と、先輩のS――は私に言ひました。玄關口が、お溫會であんまり賑かなので、會場が異つたのかと思つて歸つて了つた者があつたかも知れないと思つて、私等二三人は門の方に出張つて行きました。

夕靄は江戶川沿りを次第に淡く包んで行きました。對岸の燈火もぼんやり見えてゐました。電車の停留所の方を望んで、來會者を待つてゐましたが、みんな降車た人が前を通り過ぎて行つて、來會するものはありませんでした。肌寒い心地と淋しさの中に、私はぼん

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

佇んでゐました。
やつと、二人同伴の學生が遣つて來ましたので、A――と、M――は、それをしほに案內して會場の方に行つて了ひました。私は來會者が少いと、費用の足し前をしなければならないことなぞを思ひ乍ら、此の茶話會が不結果に終るらしい豫感を覺えてゐました。
電車は、私の前を行つたり來たりしてゐました。
と、お溫習會の方の女の子が一人の婦人と一處に、二三人門の處に出て來て、四邊を眺めてゐました。
『お琴をやつたのですか。』
私は、その中の、背の高い一人の兒にかうやさしく言葉をかけました。その兒はさつきから私の目についてゐた、黑地の裾模樣を着た、幾人かの少女の中で際立つて上品な容姿を具へてゐる兒なのでした。すらした背が、よく調和してゐる氣品のある顏立が、同伴の婦人とよく似てゐました。
『え、……』その兒は、おくせずに明瞭と私に應じて呉れました。
『何をお遣りになつたの？』と、私はその兒に言葉をかける機會を促へたことを喜び乍らきゝました。
『あの×××よ。けれど一とことこ間違へてよ。』と、かう言つて、黑目勝の眼をぱつちりとさせました。さう言つたその兒の言調や態度は、何に不自由なくのび〳〵と育つたことをよく語つてゐました。
『さう？　一とことこ位間違へたつてね……もう後とでは遣らないんですか。』と、私はその兒の馴れ馴れしさに乘つて言ひました。
『まだ分らないの……』その兒は、かう言つて、婦人を見上げました。私は、婦人からぶしつけだと思はれやしないかとの、掛念を含んだ目をその兒と一つしよに婦人の方に注ぎました。とたんに、その側にゐるもう一人の兒を見て、奇遇に驚かされました。それが、千代子だつたからです。
千代子は、もと私の家の一軒置いた隣りに住んでゐました。左樣、それは今から十年も前のことでした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の家の者は、みんな兒供が好きだつたものですから、千代子を借りに來ては家内中で可愛がつてゐました。泣いてゐるからつてはつれて來たり、目を覺したからつては抱へて來てゐました。母親のおきよさんも喜んで私の家の者に千代子を貸して呉れてゐました。千代子を抱へて用達に出た歸りなぞは、一番先に私の宅に足を入れて、千代子を皆なに見せてからでなければ自分の家に歸りませんでした。それでなければ、私の家の者は承知しなかつたのです。そんな風でしたから、千代子の家と、私の家と親類でもあるかと思つてゐた者も近隣には可成あつたのでした。

しかるに、原稿を書くにも千代子を溫袍の袖に入れといて遣つてゐたり、新聞社から歸つて來ると、その儘羽織袴の上に千代子を背負つたりした私は、關西地方に旅立して二三年東京を空にしました。が、旅先でも女の兒さへ見ると、千代子のことを私は偲ひ出してゐました。せめて、似た顏の子でもいゝから見たいものと探したことも一度や二度ではありませんでした。

『千代子は何うしたらうね。』

東京の家に歸つて來ると、私はその晩の中にきゝました。親等は千代子が四つの暮に牛込の方に轉居したことや、今では立派な家に住つて、おきよさんも千代子も幸福であることを代る代る語りました。が、後に妹や弟が出來たり、道程が遠くなつたので同伴ても來ないし、此方でも種々の都合で訪ねても行かれないでゐることを、恨みらしく話しました。その後ち、矢張私の家では小供が好きなものでしたから、いろんな小供を借りて來てはゐましたが、誰も千代子以上のものは無いと言つてゐました。

歸京つて來た年に私が一度、その次の年に父が一度牛込に千代子を訪ねました。おきよさんも一二度は同伴ては來ましたが、思ふ樣に千代子を見ることの出來ないことを私はいつもつまらなく思つてゐました。今年の夏、おきよさん夫婦が千代子を同伴れて來た時には、もう學校にも通ふ樣になつたし、お琴なども習つてゐるなどゝ聽かされて、私の兩親は孫のことでもき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くように喜んでゐました。

『此の兄さんは、赤ん坊の時お前のおへそなどを甞めたんだよ。』と、おきよさんはそんなことを千代子に笑つて聴かせたりしてゐました。その時から、私の家の者に千代子に對しての愛情が甦つて、しばらくの間その噂ばかりでゐました。――正月にでもならないぢやあ――と、さう言つてゐた千代子に、春風亭の門前で今日逢ふとは、私にとつて本當に意外の喜びでした。

『お、千代子だね、お前此處にゐたのだつたのかい。』私は、喜びの目を濕ませて言ひました。

『え、』と、かう言つた千代子は、きつくりとお辭儀をすると、婦人の側に寄り添つて、はにかんでゐました。

『……千代子ちやんは羞かしがりやで……』婦人はかう言つて、千代子をちよつと顧り見ましたが、目を石切橋の方に向けて。ぢつと遠くの方を眺めてゐました。

『お前も何か遣つたの。』私は笑をたゝへ乍ら、かう言つて、紅く頬を染めた千代子の、友染の振袖姿を、抱き擧げたい心持で見詰めました。

『…………』千代子は默つて笑顏をして私に應へてゐました。

『千代ちやんは默つて許りゐて可笑いわね。』と、婦人はかう言つて、私に笑顏を見せました。私はその時、その婦人を千代子の父方のお叔母さんであることを直感しました。勝れた容貌と一見して貴婦人と察せらる風俗をしてゐる處から、かねて噂にきいてゐた富豪の未亡人となつたその人と察せられたのであつた。

さう思ふと同時に私の晴れ晴れして居た心が、急に曇つて了つた。――自分のような貧しい、身分の無い者と千代子が知つてゐるといふことが、おきよさんの辱になりはしまいか――さうした掛念が、私の心に擴がつて來た。何ういふ言葉を以て、何う言ふ態度で、自分の愛情を千代子に表現しようかと、腹一ぱいの思ひが、それが爲め打ち消されて、私はもじ〱してゐました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『行きましようね。』と、婦人は女兒等を同伴れて、石切橋の方へと其處を去りました。私は、振返つて、お辭儀をして行つた千代子の後姿を見送つたまゝ、茫然と佇んでゐました。

貧富といふものに隔てられて、愛情の表現を拒まれた寂しさが、私の胸の中に悲しく滲み込んで行きました。

春風亭の門の瓦斯燈が、子ぼんのうの私を慰め顔にほんのりと照してゐました。千代子の姿が私の眼の底にいつ迄も〱殘つてゐました。——

* * *

私の方の茶話會は、二十餘人の來會者があつたので開會しました。私は、辨當を調べたり、菓子を言付けたりするので、しよつ中座敷と帳場とを往復してゐました。

千代子は、また、お溫習會の席にさつきの貴婦人と來てゐました。

それを見ると、私は自分の會のことをそつちのけにして、千代子にばかり氣が惹かれてゐました。茶話會の席では、先輩の講話や來會者の感想が盛に初まつてゐましたが、私は用事を無理と思ひ出しては、席を立つて行つてはお溫習會の席を覗いてゐました。華美な令孃や、美しい婦人が澤山にゐましたけれど、覗く度毎、直きと私の目に千代子の小さい姿が映るのを樂んでゐました。

けれど、遂う〱散會する迄、私は千代子に話しかける機會を捉へられずにその夜はそれなりになつて了ひました。春風亭の歸途、電車の中で、または步きながら、——貧富の隔てといふものが、如何に人間の個々の接觸を拒むでゐるか——と、さう幾度思つたか知れませんでした。（大年五、二、三）

變つた型の葬式

▲二月一日、午後一時より谷中の齋場で宮崎光子女史の葬儀があつたが、其の葬儀は從來の型を破つたものであつた。就中豫言者の棺前大演說は振つたものであつた。妻の棺前で夫がコンナ演說をした先例は無い樣に考へる。

▲加藤弘之博士の葬式も、葬式とは云はずして告別式と云ひ、振つたものであつた。

▲從來葬式と云へば、佛式か、神道式、然からざれば基督教式と定まつたものであつたが今後は銘々工夫をして、色々と變つた型の葬式が流行し出すことであらう。

托兒所

先月は大分市内の托兒所を見物して步いたが五六歲以上の幼兒を集めたる幼稚園然たる所のみであつた。私は眞に勞働する母親の手足まといになる托兒所を拵へるものが出て欲しいと思ふ。

併し赤ン坊を預かる托兒所は、金がかゝりてナカ〱個人の力では出來難いことでがなあらう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子は家畜なりや

竹森一則

女子は家畜なりや。男子が畜ふ所の家畜なりや。かの牝牛は人類に其の糧を供す。しかも男子は人類に何物の効益をか寄與せる。

男子は文明を造れり。機關砲と飛行機との文明を造れり。彼れの與へし一切の『力』は遂に人類の自殺に非ずして何ぞ。權慾の故に疲弊し困憊せる男子は變質と頽廢とを其の贈り物となす。

見よ、人間を產む能はざる男子は戰爭を產めり。壓制を產めり。破壞を產めり。生命の流れに逆行するの此等は『愛の世界』に於て最も咀はるべき哉。しかもこは、男子が女子を希望して能はず、わづかにこれに學び、これに倣うてCouvadeを得たる皮肉なる自家嘲笑の變成也。如此記錄を有する男子は誇るべき一物をも有せずと知るべきのみ。敢て註に及べばCouvadeとは產褥の女子に擬して男子の之を假裝するもの卽ち是れ也。

女子は何をか產めりや。人間を產めり。生命を產めり。愛を產めり。女子の創造する所は永久の生命の持續と生長とを確保する唯一の力也、そは愛也。母性也。家庭に沒頭する女子を誰か閑人の閑事業の語を以て罵らんとする。これあらゆる人間の事業の最も秀でたるもの也。

古來流行するものは。主家の道德也。卽ちこれ暴力の道德也。弱者はこれに與らず。況や無力非力の女子をや。卽ち知る、婦德とは、男子のために、男子によつて强制せらるゝ所の課稅也。被征服者としての女子の男子に貢獻する所のものは卽ち婦德といはるゝ所のもの也。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子は何故駑馬の如くしかく愚かしきや。他なし、曰く敎育の罪のみ。男子のために男子に依つて施さるる敎育は一切女子を暗愚ならしめんとして案配せられ努力せらる。男子に嫉妬心あれば也。家畜としての女子が人間としての自覺を發せんことを恐怖すれば也。卽ち女子の覺醒は男子の特權を其の獨占より奪回すれば也。人間としての利得の當然の分前を要求せらるれば也。

人間は何ものたるよりも先きに人間たらざるべからず。しかも思へ。世に貞婦を說きて、貞夫を說かず。良妻賢母を說いて、良夫賢父を說かず。また處女の德を說いて、處男の德を說かざる事を　若し此等が男子のいふ如く人間の美德ならば、これあることが人間の人間たる所以にして、女子は最早家畜の如きものに非ず。一人前の人間也。若しこれなきことが人間の特權なりとせば、女子にとつてそは禽獸の美德のみ。須らく人間たらんがために女子は其の婦德を芥溜に投棄せざるべからず。否や。男子は文明を創造する所の禽獸なりや。否や。

ニイチエは數多き女子誹謗家中の一人なりき。しかもなほ彼れは『完全なる婦人は完全なる男子よりも更に一段高き階級の人間のタイプに屬す。』と告白せざるを得ざりき。哲學と倫理學とを男子の奴隷として從屬せしめ、これに男子の優逸を說かしめんとするは由々しき眞理の賊たらんのみ。

請ふ見よ、男子が證示せんとする生物學上の男女の優劣を。彼等は何すれぞしかく無意味なる試みに空しく騷ぎ努むるぞ。幻滅せんとしつゝある男權擁護のためか。哀れむべし。水と火との優劣を爭ふは癡呆者といへどもなほ敢てせざる所。

男女の差を以て男女不平等の原理となすものは、人生より平等といふ言語を抹殺せんとするもの也。何とならば、太陽下と地上とに、等量等質等形等色の同一物のあることを我等は認識し能はざれば也。既に物に差あり。差は物の識別也。而して其處にまた平等存す。卽ち平等とは市價を指すに非ずして、『愛』を以てする

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

價値の絶對化を意味す。物々存立の根本に徹底せる價値の一様化也。平等の肯定は愛の肯定のみ。愛の肯定なくしていづくにか生命の肯定あらん。平等を否定する者は自己の感情を自らいつはる者のみ。しかもいつはり切れぬは夫婦の情也、親子の情也。茲に夫婦の情とは人間同志の夫婦をいふ。權力金力暴力等の桎梏なき愛の世界に於ける男女をいふ。

見よ。世に男女程相似ざるものありや。而も彼等相愛の力は此の異なる二箇の世界を打して一箇玲瓏圓滿の丸となす。如此平等の意義は唾棄すべきものなりや、侮蔑すべきものなりや。

女子一切の缺點一切の不德は妊娠と分娩との最大功績を以て補償せらる。

嬶天下は亭主天下よりも美しく且つ善也。

三十女の日記

東大寺多代

N夫人へ

N夫人——今日はどうぞ恁ういはせて下さいませ。ほんとうに私は心からあなたの御親切を拜謝いたします、と同時に抑へきれぬ微笑を漏すことをも御宥し下さいましな。日頃職業婦人々々とばかり仰せになる貴女が……その貴女が特に私に御惠み下さつた本書——

正史上のロマンス！私はその夕、子らの寢つくのを待ちつけて、讀み始めました。了つたのは三時二十分です、初めて寒威の壓迫に氣がついて、窃と廊下に出て火を熾しました。そして再びナポレオンの戀……ジョセフィンには曾て嫉妬を抱かなんだ奈帝！がマリア・ルイゼにのみは甚だ猛であつた。皇后に對しては何麼男でもまづ警戒を加へた……といふのを繰返してみま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。殊に花嫁ルイゼを迎へにゆく途の燥急な自我な男性の心持が紙上に躍つて居ますね。

彼は待遠しさ悶しさにえ堪へず……折しも日は暮れんとし、雨は瀧なして居る、皇帝はそれにも頓着なく、直ぐ又新しい馬をと命じ……雨を衝いて又もや暗に突進した○○村に差しかゝつた時彼は其前驅の使者に會うた、而して斯う叫んだ。

「よしもう二三分だな！」、とひらり泥路に跳び下りた。

而も墺太利の皇女たる彼女は、たゞ父帝の爲め、墺人民の爲め、健氣にも義務として嫁く此行ではないか、あゝこのうらはらな兩個の運命の果して何麼風に展開するものぞや。

この時の勝利者たる彼皇帝は、聖ヘレナの臨終時に遉は一世の英雄、深く觀念する所はありながら「我が心臟をアルコールに漬けて我が愛するあのマリア・ルイゼの許に屆けて欲しい」と頼んで居る。

固にこれ史の物語る極めて普通な男女戰の眞實を披瀝したものではないでせうか。お蔭樣で面白く徹宵致しました。とりわけ貴女の上品なわるさ、といふよりもロマンスな貴女が、なか〳〵に懷しう覺えましたよ。

私は全卷に横溢するあるものを、把握することの不可能な人間である故に、貴女の期待に背いた心地がして、今更自分がこ憎いやうに思ひます。但しかし、本を伏せて私はしばし恍惚として、ある切實な暗示を得ました。それが架空的な小説でなく。ある人々のなし遂げて來た徑路であつたといふことが私の心を顫はせたのです。深く謝し上げます。

とにかくに私の目が異樣であつたことは事實でせう御承知の朝の早い鹿野子が目を睜つて斯ういひましたどうなさつたの母さん……。

△月○日

戀を捨てたら輕かろか。とは曾て憶うた事である。近頃は戀を捨てたら寒かろかとぞおもふ。たゞ之を得たならとは未だ想ひみぬ。

けれども世にはもつと偉大な、もつと至純な而も強

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

烈なものがあらうと思ふ。地上に蠢動して居る自分達の夢想も及ばぬある不可思議な太い美しい腕！のやうなものがあらうと想はれてならぬ。その觸れば骨を刺すやうな、柔かいものならばぢり〳〵と白煙と化せしめるやうな、氷といはうか、火といはうか、其麽ものがあるやうに私は思ふ。

さうした意味から、私は漸く海洋に眤んで來た。水が好きになつて來た。秋から冬にかけては、空の色彩までが自然と沙漠的になつて來て、白浪が著しく奔瀾する。熱帶に住む猛獸の嘯のやうな鳴響のした黎明なぞ、代赭色の太陽が鉛を溶したやうな水の上に鈍い力を投げて居て、よく御輿などを瞰望するに適いあの砂丘には、澪堀の鐵艦が載かつて居る、錆鎖も何のそのとばかり、捩斷られて醜い船腹を横へて居る。日頃は魔の王のやうに傲然と構へつゝあつた彼！

時計のないこの一帶の部落はもとより、遙な半腹に田をかへしたり、麥の病氣を氣遣うて居る男達に、恁う白い手拭を、赤い頬にかけながら、妙な土瓶を提げて、お茶時を考へて居る女房らに「夙くゆけ」と命じてゐた。彼の今をみせつけられたり。三年も四年も幾頭の賃銀となり幾千の肩や足やで、えち〳〵と運び築かれた防波堤を、一宵のすさびに崩潰しつくして、目ばかり光らしてゐる其男共の膽を潰さすやうな惡戯をしたり……

これはまた過る七夕の忘れがたい夕つ方の光景であつた。上絃の月は幼い人の寢顔の如く、濃い磯松の林の上にかゝつて、それに向きあうた彼方には富士が紫爛の裳を衒耀やかに引いてゐる。金波はだん〳〵擴ごつて、異帆も片帆も、折から網うちかへす若い男の肌も燃えあがつて。空はまた水よりも透明に、金光爛々として思はず私は聲を放つた。この時私の佇んで居た傍から、馬を乗り入れる少女があつた。と細いなで肩にふさ〳〵と被る黒髪も、馬の頂髪も光輝を放つ、拜みたいやうな尊さであつた。三丁ばかりの弧線を書いて來たクインのやうなこの乗者は再び渚に還りつくと白砂の上にふうわり藁草履の素足を立てゝ、まづ愛す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る彼の鼻を撫でて、其後脚から洗ひ始めた。夕凪に幾多の出帆はあし並緩漫にあとから〱連り絡りゆく。私は此時のさまを音にするさへに惜しく覺えた「時」の爲めにこの繪が薄められはせぬかと私はそれを惧れてゐる。

とりわけ、潮の香のつよい極東の水を戀ふ。白波の姿態も、色も艶も、こゝはまた複雜である。ある時は聖者の如く、ある時は女詩人の如く、英雄のそれの如く。はかり知られぬ深刻さ、柔さ……まことにあるか無きかの身ながら、この存在が勿體ない限りとさへに思はれる。人心の反覆といふもの、驕るもの、僞るもの、はた煩ふものは、この青緑の水と親むべきであらう。

幼い頃亡き母上の賜はつた、褐色になつた繪卷物の中にある爲朝――鏑を注いで左馬頭の魄を褫ふたる莊嚴門院の爲朝！の箭の如くに、ふム―むとばかり胸を張り詰めて、颯と放たるれば轟然とゞろく。巨巖を粉碎し果したるかとばかりの怒濤！渦煙！濃藍たりし漫々の水は、忽焉として白霰と散り、霧となり煙となり、むらさきの雲となる。……若しも女といふものがぜひ戀せねば、ならぬといふならば、寧ろ私はこの水に戀しませう、巖にぶつかつて華と匂ふ、幅廣のこのふところに這入りたい。我がすべてを委ねたくぞおもふ。

△月〇日

私のお湯好きは夙に御承知ですわね。今日も誰か一人連れて行かうと思うて誘つてみましたが、皆應へません、私は悠々出かけました、霏々と降る粉雪は外套の袂にもたまつて、斜にさした傘は片手に重たく、あしだの齒には拂へども落せども凍つたのか喰入つて、ともすれば轉びそうになるのです、無論、向うからも横からも痛いやうな風が襲ひます、何故恁うしてまでも行かねばならぬ？といふ譯は知りません。のみならず私は脊中といふものを洗うた例がありません、あの番頭さんといふものに觸れるなぞ、思うても堪りません、煎じつめると私は人の匂ひが厭なのでせうか……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

…自分の子供だけは例外で……此麼我儘な私はそれ故世に身の置所さへないやうな氣がする時もあります。どうか人間が好きになりますやうに……でなければこの弱き我にあるものを與へさせ給へ、と祈りつゝあるのですよ夫人！

○

私は今不圖、宿命といふことを考へさせられました夫れは近い踏切にをどり込んだその青年からの連想です。何の情景もない鐵路や鯰のうよ〳〵居さうな濁江などに、あたら潔い終りを――とさう思ふのは徹底しない故でせうか。抑も宿命とやらいふもので、我が人力の維持することの能きぬものとすれば、悲慘此うへないものですね。それこれ思ひつゞけて居るうちに私はあの義仲といふ人を傷ましく覺えました。弓矢とる外にはさしたる長所のないやうに見えるけれども、今井、樋口なんど、所謂君を聖にする所の忠良に乏しからず、大將分の器量を供へたるの人、叔父十郎を追はずして義高を鎌倉に質としたるなぞ、當時の形勢として立派な源氏の長者振ではないか、若しも猥りに事を急ぐことなく攻めるに難い北方の險に據つて、徐に四隣の變を待つの策に出でたならば。さうして十萬の精騎を提げて、頼朝の所謂八州の卒と關東の原野に相見えんには、かの輪廓はもつと立派にもつと鮮明なものとして、觀ることを得しめられたことゝ想ひます、あゝした場所で、あゝした最後を遂げさせたといふことは、實に長い恨事ではありますまいか。

脊中合せの寒さ、といふ句は、いかにもよくそれをいひあらはして居ると、今更詩といふものゝ威力にそぞろ瞼を潤しました。(紀元節の朝)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ちかひし言の葉

黒百合

英國のとある町に子女數多有ちて夫妻睦まじく暮す一家あり、夫は元陸軍々人にて今や病の爲め職を退きて靜かに餘命を送るなりき、優しき妻、可愛の子女とはなれて永き別れ堪へがたきの極なれど、それにも倍して一ッのなやみ苦しみ彼がむねにあり、不治の病たのみ少なき今わ。

彼未だ若かりし時、品行方正、紳士として世にも人にもはづるところなけれど、宗敎の心熱せずキリスト敎徒と云は名のみ、されば己と同敎派ならぬ婦人を愛するの餘り婦人の要求する條件のもとに結婚するに至れり。

婦人は天主敎徒なれば異敎徒たる彼との結婚を心よくは思はざりしも、彼の熱情と眞實また彼を愛するの心より遂に彼と婚せり。

彼が約せし條件は如何なる事あるも彼の女の宗敎に對しては、改宗せよ彼に從へよなど一言も云はじとなりき。かくて相愛の夫妻は樂しきホームを作りて日曜日來る每に、夫は妻をその敎會に送り込みて、己は己が敎會に行きて心靜かに平和の惠みに浴したりき。

されど子供の與へらるゝに及びて一つの難義出で來れり、そはその子を何の敎會に連れ行かんか、父のもとか、母のもとかと、遂に二人は男子は父に屬し、女子は母に屬す可しと議決せり、かくて子女等の成長し行くまゝに自然男兒は父に女兒は母にと一家の内に知らず／＼へだてのかき厚くなり行くにぞ、彼は遂には樂しき眞のホームも破れ果つ可し、妻を改宗させではと心に浮ぶ事あれど、ちかひし言葉を破るは死より苦しく、さりとて此のまゝに、いかですて置かる可き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と煩悶懊惱せり。妻の信仰のあやまれるを知りながらそれと共に娘等まであらしめて其あやまりの内に見捨て置かんは父たり夫たるの義務ならずまた神へのつとめならずと日夜苦痛に堪へざれど彼は尚ほちかひし言葉は破らざらんと祈るや多年、今、死の手正に彼の上にある也。

遂に彼は妻を呼びて、我今や神の御もとに行かんとす御身に云ふ可き事こそあれ、我かつて御身と婚してよりこゝに十數年結婚の當時御身に約せし言葉を破りし事ありやと、妻は否々我夫よ御身は遂に一言も云ひ給はざりき、今の今までも守られたりと答ふ、夫は我今御身に頼みあり聞き給はるやと、瀕死の苦を忍びて曰ふ、妻は何なりと云ひ遺し給へ、我必ず成しとげん必ずよく守る可しと。

さらば我が死後、我が日々讀み續け來りし聖書を我が開きしまゝ客間の机の上に常に置き給へ必ず閉ぢ給ふな、此の事我が願ひなりと、妻は必ずよくす可しと答へたり、夫はかくて我が願は許され我が、日頃の約言は守り得られたればと心平和に眠り得べしとて逝けり。

妻が教會の司教も其の不幸を聞きて悔みに來れり、不圖机の上に開きある聖書を見て驚く事一方ならず、夫人よこは只人の讀む可き書物ならず、危し、危し、信仰の妨げとなればとて、聖書を閉さんとす、『否々それに手を觸れ給ふな、夫への約束なり、必ず開きてあるべし』とて、夫人は司教が何んとおどすも、すかすも、生命にかけて拒み肯ざるより、司教も遂にもてあまして、其のまゝにしたりと。

斯くて其後も、妻は約束の如く聖書を開きたるまゝ机上に置きたるが、さるにても我が夫のかくまで愛讀せし聖書とは抑も如何なる物ならんかと、讀む心となり、子女等も呼び集へて、研究する程に、聖書の意義も次第に悟られて、遂に夫と同じ教に改宗せりと云ふ。

以上は實話です、美しい夫妻の心ではありませんか絶對の權力を以て妻に臨み、是が非でも壓迫して我意

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を通す夫の多き世の中に、優しい愛情を以て妻に改宗をすゝめれば、すゝめられざるにあらざるに、一度約した言葉の神聖は破られないとして、幾年月の間、正道に導き得ざる苦痛を忍んだ彼の心情は、何んと云ふ尊さでしよう。自分にもコンナ夫があつたらドンナにうれしいであらうか、コンナ子が、兄弟がと、暫く深い思に沈みました。

人は何時でも自分に斯くして呉れかしと願ひますがソレではなりませぬ、先づ第一に自分が此の夫の心となつて家族のもの丶爲めに盡すことが大事です、すれば家内に風波などの立つ樣はないと思ひます。矢張自分を第一に活かして、而して他人に對さなければなりませんのね。それで私は今コンナことを思ひますの、己を殺す勿れ、己を活かせ、自分が死んだものでどうして人を活かす事が出來ましよう。自分が活きてこそ人をも活かせますわ。自分を活かすと申しましても、決して我儘をせよ勝手を働けと云ふのではありません

飽までも己を活かし、長の年月約束を守つた人の忍耐と誠實とを我身に行つて、最後の勝利を得たいではありませんか。

或る女の死

大月高陽

一

この一篇は、私のこの頃作らうと思つてる小說の筋書きと云つたやうな手控へである。けれども、決して虛構架空の事柄ではない。私の生活に多少の奇緣のあつた事實談で、人生研究を目的とする私にとりては、決して看過することの出來ない事實であるのみならず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この事實の裡に、若干の問題、それは遲かれ早かれ我等が一度は觸れなければならぬ問題のあることを見出すが故に、茲に「或る女の死」と題して、その大まかな記述を試みて、やがてその事實の裡にある二三の問題について、多少の卑見を述べて見たいと思ふのである。

私がその女を知つたのは最う十二三年も前のことで丁度私が東京へ初めて出た時のこと、私は神田のとある下宿に居て、多少の研究をしつゝあつた、すると不圖その下宿の筋向ひの家の標札に、私が故郷の小學校で知り合ひだつた友達の名前を見出した。私は不思議な思ひで訪ねて見ると、それは人違ひではなかつた。二人はその奇遇を喜んだ。その時、今物語らうとする女を私は初めて見た。それはその友人の關係してゐた女だつた。靖献遺言等を小供の時から愛讀してゐた私は、古文眞寶にある「妻を娶るに良媒なきを憂へず、書中女あり顏玉の如し」と云ふやうな勸學の詩を平氣で歌つて居たので、田舍から勉強に上京した筈の友人が、女に關係してゐると云ふことを心地よくは思はなかつた。大に罵倒する不粹すらやつた。その年の暮れ私は日露戰爭に出なければならぬので、歸國して戰爭が濟むと再び上京したが、遂にその友人とは會ふ機會が無かつた。從つてその女に會ふことも出來なければ、苗字やら姿やらまで忘れて仕舞つて、ツイゾ思ひ出したことのなかつたこと約十二年、然るに二三年前だつた。不圖、私は知らぬ女名前の一通の手紙を受取つた。それはその女からだつた。何うして私の住所を知つたかと云ふと、讀賣新聞で見たとの事だつた。それ以來その女は暇さへあれば私の處へ遊びに來た。そして種々な追憶を語つた。その中には女が一緒になつて居た夫と別れたと云ふこと、分れてからこの方十年と云ふもの、彼れ是れして苦しい生活を續けて來たと云ふことなどもあつた。私はその女の心を見透す爲めに、極めて冷靜にその物語を聞いた。そしてその素行をもそれとなく見た。それは次に語るやうな憐れな女だつた。その憐れな女が、遂に今月の初めに、不圖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した病み附きで、死んで仕舞つた。私はそれを知つて居るなら末期の水を呑ませてやつたらうが、四五日たつてその樣子を知つたので、殘り多いことをしたと思つた。從つて、前にも云つたやうな、その女の生活の裡に表はれたサムシングに就いて筆を取ると云ふ外にその表弔の意味をも寫してこの一篇を綴つたのである。

二

その女は所謂「馬鹿」だつた。我儘者だつた。自分は最う三十を二つも過ぎた歲でありながら、然かも重い心臟病に、彼れこれ十年と云ふ年月の間虐まれて居ながら、朝鮮で働いて居る父が、東京の家庭を引拂つて京城へ移轉するやうに命じたにも拘らず、彼女は頑として應じなかつた。二人の妹と母とは、居難い東京で佗しい生活をするよりは、假令暮し向は振はなくとも、父たり夫たる人と共に京城の地で、暖かい家庭の樂居を樂んで、種々な方法で、病める娘……病める姉に勸め且つ慰めたが、彼女は頑として反對した。己が腹を痛めた子、己が生みの母であるにも拘はらず、この母子の間に深い〳〵溝が橫はつて居て、日比からともすると口爭ひやら、心の暗鬪やらの絕えたことのなかつた母子は、端なくも一家の移轉問題に、大きな衝突を始めた。その結果は遂に一家分離の悲運となつて母親は二人の妹娘を抱へて澁々に渡韓し、三十二になる心臟病に病みほうけた我儘娘は、何を生活の便りともなく、僅かに見出した微暗い裏棚の貸間に淋しく居殘つた。子で子でない。親で親でない種々な冷たい苦しい思ひを抱いて二人は西と東に分れなければならなかつた。然かもそれは一時の生別であると同時に永久の死別であつた。

三

『何と云ふ我儘者だらう……』

雲山千里を隔つた京城の假寓に住む彼女の兩親は、照るにつけ降るにつけ、花が咲いたと云つては故鄕を思ひ、月が出たと云つては先祖代々の住家だつた東京のことを思ひ出すにつれて、血を吐くやうな想ひを斯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う云つて泣いた。子で子でない、親で親でないその悲みは、偶に「我儘者だ」、「馬鹿だ」と罵つては見るもの丶、今日の寒さに持病は何うだらう、働けぬ女の身空で、何うして三度の食事を過してゐるだらうと、我れ知らず熱い涙をこぼしては、苦しい他郷での頼りない働ぎに汗水たらして稼いだ金の幾分を月々にそれとなく送つて遣ることを忘れなかつた。それは僅かに五圓と云ふ間代には過ぎるが食費には足らぬと云ふ僅かな金ではあつたが、朝鮮邊りへ流浪して行かなければならぬその日稼ぎの人にとつては、それは容易ならぬ遣り繰り算段の賜であつたのだ。それのみならず、月一度の小切手を封じ込む半切れ紙の片隅には、それとなく我儘娘の機嫌のよいような文句もその都度書き添へることを忘れなかつた。そして何時かは心の底から考へ直して、貧しいながら暖かい兩親の膝下に、そのいたいけな病みほ丶けた廢軀を寄せる折もあらうと、それとなく慰め、且つ勵まし、決心をも促した。母が着古るしの袷物を、日に夜をついで仕立てあげた妹は

『姉様いかゞ……』と半切れに、鉛筆で走り書きした手紙を袂の袖に疊み込んでは送つて、外れた姉の心も何時かは自分の姉としての優しい心となるであらうと待ちに待つたが、それ等の凡べては水泡に歸した。外放れた心は遂に再び天日の暖かさを仰ぐことなしに、哀れ三十二歳を一期として、むさい裏棚の微暗い貸間の裡に他界の人となつて仕舞つた。（續く）

編輯の後

△本月より紙代も印刷代も高くなり、二三割程値上げをせねばならぬのですが、紙價の騰貴は長いことではなからうと思ひますから、此のまゝで行きたいと思ひますが組合の規則で郵税丈位四月から上げなければならぬかも知れません。

△右の様な次第で經濟が苦しからうと云ふので讀者の方々の中に、多くの讀者を御勸誘して下さつた方が御座います深く感謝いたします。

△奈良林院長のお話、ルツ女の『新作劇家』、其他、本號よりは次號に適するものは、次號へ廻はすことに致しました、悪しからず。

△空想に近い理想談よりも、一歩一歩と進むことを奨勵する方針で、本誌は今後益々實用向記事を多くするツもりです。

活卵の價値

△活卵を賣ると云ふ店は、少なくないが、眞の活卵は、東京鷄卵合資會社でないと、得られないとの評判を聞き、一日神田佐柄木町の同社を訪問して、其の主任から色々卵の話を聞きました。左は其の時に聞き得たお話の一部であります。

△普通問屋などでは一日でも長くおいて値の出た時に賣ると云ふ方針であるから、品の新古善惡を云々するより、思はくで高く賣ればよいと云ふ事になるのです(鷄卵は一年中で四月が最廉く、十月が尤も高く、卵ほど高低のはげしいものはありません)其の上外國では産卵後三日後とか五日後とか云ふ樣に日によつて値が違ふほど、新らしいと云ふ事を珍重するのであるが、日本ではこれまで品の新らしいのを云々して營業にした人がないから、自然値が安ければよいと云ふ事になつて、買手がないので、なか〳〵さう云ふ營業方針ではやれなくなつて、問屋の品は自然に古くしなければ賣れない理窟になつてゐるのです。

△それで私は何とかして東京市民の口に新らしいものを供給したいと云ふので、千葉縣廳と相談の上東京鷄卵合資會社を經營してゐるのですが、養鷄の方も仕て完全にしたいと思つて中野に養鷄場をも始めたのです私は舶來種を專門にしてゐますが、京都には在來種を完全にしてゐる人があつて、東西の大關と云はれてゐる次第で、宮内省の御用は一切伺つて居ります。

△卵は新らしいのと古いのとでは營養に大變な違ひがあります。ふつて中味のうごく音のするのは古いのです。此の頃の樣に寒い時などは六十日位は腐らないが新らしいと云へるのは産卵後一週間の中です。始めは極少しのすきのあるのが、だん〳〵大きくなり、上海王子などは半分もすく事になりますから、目方の上でも同じ一個と云つても大變な相違です云々。

△古い卵の滋養分としての効能のないことを承知してゐながら、古いと分り切つて居る。普通の店のものを求めるのは愚なことです。斯かる確かな店のをお求めになる事をおすゝめします。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎主筆

自働道話

▲四六倍形八頁
▲一部郵税共二錢五厘
▲一年同卅錢
▲毎月一日發行

平易簡明に、實践道德、新道德を説く雜誌にして、

三月號の要目左の如し

何時何所で誰に試驗されてゐるか知れぬ（西川光次郎）海外發展の新福音（岡本米藏氏の事共）余が朝食廢止を主張するに至りし次第（デュウエ）强健の根本要訣と其の方法（川合春充）人格の三種類（竹内師水）非藥物療法實驗の記錄（葛岡ドクトル）東京市内町々の團體調べ（記者）

新眞婦人合本

（自一號至十二號）定價郵税共一圓

合本第二卷

（自十三號至二十四號）同

新眞婦人社

御來社の方々へ

平常は多忙で折角お出下されても、失禮勝ですから、成るべく日曜日に御出で下さい。日曜日には、止むを得ざる場合の外は、外出しませんから（文子）

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時より御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、直接又は誌上にて御答へすることにいたします。

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正五年二月廿七日印刷納本
大正五年三月一日發行

發行兼編輯人及印刷人　本鄕區駒込動坂町三二七番地　西川文子

印刷所　本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込動坂三二七　新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

進歩せる流經藥

The Piluroin

(月やく下し)

ピルロイン

A MOST SUCCESSFUL REMEDY FOR ALL KIND MENSES

月經とまり月經不順の方は

つまらぬ藥に迷はず早く御用ひあれ

本劑は通經藥としての要求を充し之れに副ふ所の障害なからしめんと苦心したる製劑にして有効に好果を奏す

本劑は世上有觸たる他藥品と異なり本劑の有効性分**アロイン**は胃中に作用せず胃中に作用せざるが故に胃を害する事なく腸に至り始めて膽汁と合し**有力**なる**流經藥**となり益々効力を**發揮**し**子宮**部に作用し**月やく**とまり**血塊**も**身體**に少しも**害**なく胃腸を害せず**子宮**を痛ず心持よく**下**る又**古血**を**一掃**し**新血**を增す**有効**なる藥劑なるを以て**速**に服用あれ

婦女子の

常備必携藥

(卓効流經藥)

且つ月經不通不順より起る**子宮血**の**道ヒステリー**を**治**す

本劑は**特**に月經不通停滯を開き**通經**の**効驗**を**保有**す

本劑は何人にも吞みやすく服用し得らる身體に害なきは弊店保證す

貴婦人令孃**速**に**本劑**を**御服用**一日も早く**苦惱を**除去せられん事を望む●送金あれば直に送藥す郵劵代用一割增し

藥價一圓卅錢二圓五十錢特別製三圓五十錢送料十二錢臺灣滿韓卅錢

東京本郷區湯島四丁目拾四番地

ヴヰナス商會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

改正定價表

本法實母散	壹貼	金拾錢	二錢
同	參貼	金參拾錢	二錢
同	五貼	金四拾五錢	二錢
同	七貼	金六拾錢	四錢
同	拾四貼	金壹圓武拾錢	六錢
同	廿一貼	金壹圓大拾錢	八錢
同	參拾貼	金武圓拾錢	八錢

(送料)

嬉しきホ子ームーンにも樂しきスウ井ートホームにも均しく

實母散によりて得たる婦人の健康が第一なり

■喜谷實母散 主治能効■

▲子宮病 ▲血の道
▲白帶 赤帶 ▲こしけ
▲下腹痛み ▲足腰冷込
▲氣ふさぎ ▲産前産後
▲逆上頭痛 ▲難産流産
▲月經不順 ▲經期腹痛

本舗 東京市京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THE FIRST MAGAZINE OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

新眞婦人第三十五號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正五年二月二十六日印刷納本
大正五年三月一日發行（毎月一回一日發行）

定價金拾錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA